

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分 一部、令和7年度分を含む)

静岡県立富士宮東高等学校

目 次

事務事業の概要	1
事務執行の根拠法令調	27
学校施設の概要	28
在籍生徒調	30
入学志願者及び入学者数調	32
卒業生の動向調	34
生徒の状況	36
授業料収納状況調	38
県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	40
過年度分収入未済額調	41
預金調	42
郵券等受払調	43
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	44
委託料に関する調	45
補助金支出調	48
負担金支出調	49
建築工事調	51
公有財産調	52
借地借家等調	54
事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	56
行政財産貸付・使用許可調	57
普通財産・借受財産等貸付調	58
職員公舎管理状況調	59
主要備品調	60
職員調	61
職員の年齢調	65
健康管理	66

事 務 事 業 の 概 要

1 概 況

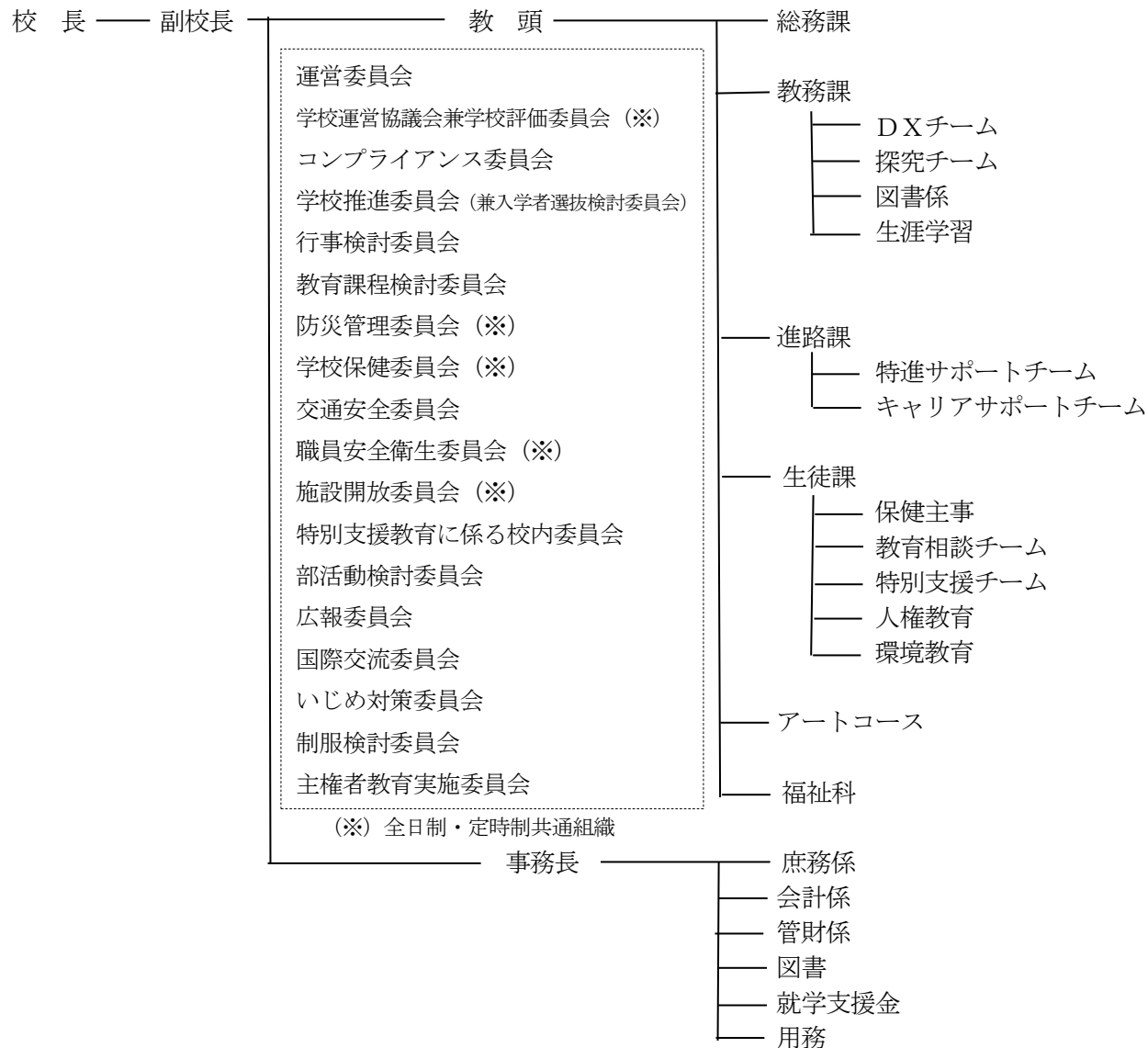
(1) 学校の沿革

- 明治 39. 9. 8 大宮町立女子技芸学校を大宮第二尋常高等小学校に附設
富士物産陳列館を仮教室として開校
- 大正 7. 4. 1 大宮町外 6 ヲ村学校組合立実科高等女学校と改称
〃 9. 4. 1 高等女学校に組織変更し、大宮高等女学校と改称
- 昭和 3. 4. 1 県立移管となり、静岡県立大宮高等女学校と改称
〃 17. 6. 1 市制施行、静岡県立富士宮高等女学校と改称
〃 20. 4. 1 専攻科を設置
〃 23. 4. 1 学制改革により静岡県立富士宮高等学校と改称
〃 23. 9. 1 定時制課程普通科を設置
〃 23. 12. 1 定時制課程（昼間）上野分校を大石寺内に設置
〃 24. 4. 1 学区制が制定され、男女共学制を実施
〃 25. 4. 18 定時制課程（夜間）芝富分校を芝富中学校内に設置
〃 28. 4. 1 静岡県立富士宮東高等学校と改称
〃 30. 1. 1 全日制に家庭科を設置
〃 32. 3. 31 芝富分校を廃止し、定時制普通科に編入
〃 33. 4. 1 定時制に商業科を設置
〃 35. 4. 1 本年度より女子のみとなる
〃 37. 3. 31 全日制家庭科を廃止
〃 38. 5. 10 新校地（富士宮市小泉 1234 番地）の整地、鍬入式
〃 39. 3. 31 上野分校を廃止、全日制普通科に編入
〃 39. 4. 1 定時制商業科の生徒募集停止
〃 39. 8. 24 新校舎起工式を挙行
〃 40. 6. 30 本館工事竣工
〃 40. 9. 1 新校舎で授業開始（2・3 年生）
〃 41. 7. 13 体育館竣工
〃 46. 8. 30 プール竣工
〃 49. 1. 11 生活館寄付受納
〃 49. 4. 1 全日制に衛生看護科を設置（定員 40 人）
〃 49. 12. 9 衛生看護科棟竣工
〃 61. 3. 13 多目的体育館竣工（668 m²）
〃 61. 10. 7 特別棟耐震工事竣工
〃 62. 11. 6 創立 80 周年記念式典挙行
- 平成 3. 4. 1 全日制普通科第 1 学年 1 学級減、7 学級となる
〃 4. 4. 1 全日制男女共学再実施 男子 136 人入学

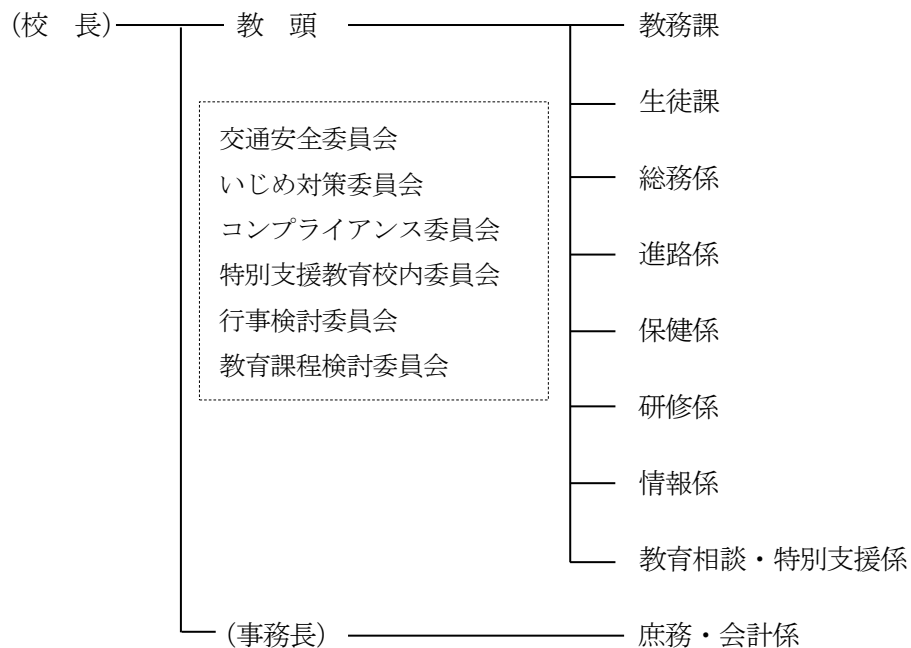
平成	5.	4.	1	全日制普通科第1学年定員減	(7学級 295人)
"	6.	4.	1	全日制普通科第1学年定員減	(7学級 290人)
"	7.	4.	1	全日制普通科第1学年定員減	(7学級 285人)
"	7.	10.	31	夜間照明施設工事竣工	
"	8.	4.	1	全日制普通科第1学年定員減	(7学級 280人)
"	10.	8.	30	屋外便所竣工	
"	11.	3.	20	グラウンド擁壁改修工事竣工	
"	12.	4.	1	全日制普通科第1学年定員増	(8学級 320人(芸術コース設置))
"	13.	4.	1	全日制普通科第1学年定員減	(7学級 280人)
"	14.	4.	1	全日制普通科第1学年定員減	(6学級 240人)
"	14.	4.	1	衛生看護科の第1学年生徒募集を停止	
"	14.	4.	1	全日制に福祉科を設置(定員40人)	
"	14.	5.	31	地震対策緊急整備工事竣工	
"	15.	9.	30	多目的体育館改修工事竣工	
"	16.	3.	31	衛生看護科閉科	
"	16.	4.	1	全日制普通科第1学年定員減	(5学級 200人)
"	17.	1.	24	体育館耐震補強建築工事竣工	
"	18.	11.	24	創立100周年記念式典挙行	
"	19.	3.	30	特別棟耐震工事竣工	
"	20.	4.	1	全日制普通科第1学年定員減	(4学級 160人)
"	21.	4.	1	全日制普通科第1学年定員増	(5学級 200人)
"	21.	12.	22	管理棟耐震工事竣工	(4教室減)
"	22.	9.	15	更衣・部室棟建築工事竣工	
"	23.	3.	29	生活館他耐震補強工事竣工	
"	25.	4.	1	全日制普通科第1学年定員減	(4学級 160人)
"	26.	4.	1	全日制普通科第1学年定員増	(5学級 200人)
"	27.	3.	2	防球ネット(天井ネット)改修工事竣工	
"	28.	11.	9	創立110周年記念式典挙行	
"	31.	4.	1	全日制普通科第1学年定員減	(4学級 160人)
令和	6.	4.	1	全日制普通科第1学年定員減	(3学級 120人)
"	6.	4.	1	全日制普通科「芸術コース」を「アートコース」に名称変更	
"	7.	2.	27	管理普通教室棟建築工事竣工	

(2) 組織図

《全日制》



《定時制》



2 目指す学校像

【全日制】

(1) スクール・ポリシー

ア グラデュエーション・ポリシー

【育てたい人間像】

- 価値観が多様化する社会で生き抜くための確かな学力と、信頼される社会人となるための自己管理能力を備えた、自分を磨くための探究力を持った人
- 多様な他者を尊重し、互いの意見を傾聴するとともに自らの考えを適切に表現しながら協働することにより、人とつながりながら物事を成し遂げることができる人
- 未来の幸せな地域社会をつくるために、広い視野を持ち、主体的に挑戦をしていく行動力を持った人

【育てたい力（宮東力）】

- | | |
|----------------------------------|----------|
| ○基本的な知識技能を身に付け、場に応じてそれを活用する | 『確かな学力』 |
| ○挨拶や礼儀、時間管理など基本的な社会性と自己を管理するための | 『自己管理能力』 |
| ○自己の興味関心を深め、物事を理論的に考えて本質を見抜こうとする | 『探究力』 |
| ○多様性を認め、他者と力を合わせて課題に取り組む | 『協働力』 |
| ○他者を深く理解するために共感を持って話を聞く | 『傾聴力』 |
| ○自分の考えや意見を他者にわかりやすく論理的に伝える | 『表現力』 |
| ○自ら目標を設定し、自分の意志や判断で目標を達成しようとする | 『主体的行動力』 |

イ カリキュラム・ポリシー

【普通科】

- 文系・理系の枠にとらわれない、興味・関心に基づいた探究的学習を実践します。
- 生涯を見通したキャリア形成力を育成し、個々の進路希望に応じたきめ細やかな指導を行います。
- 地域社会での特別活動や国際交流、ボランティア活動等、校外での学びを推進します。
- アートコースでは、美術に関する知識・技能と豊かな感性を育てます。

【福祉科】

- 確かな基礎学力を培い、実習を通して実践力を身に付け、地域社会に貢献しようとするあたたかな心を育てます。
- 介護、看護・医療を中心に、個々の進路希望に応じたきめ細やかな指導を行います。
- 地域社会での特別活動や国際交流、ボランティア活動等を通して、自己有用感を高め、人の役に立つ喜びを醸成します。

ウ アドミッション・ポリシー

- 自分の可能性を信じ、校内外の様々な活動を通して、自己の進路を積極的に模索しようとする意志を持つ生徒
- 多様な考え方を持つ人と関わり、広い視野を持ちたい生徒
- 地域を愛し、人の役に立ちたいと考える生徒
- 美術が好きで、感性を磨きたい生徒
- 目標高く部活動に取り組み、学業との両立を目指す生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

ア 自己管理能力育成のため、心身の健康の増進と基本的生活習慣の確立を図る。

- イ 基礎学力の定着に加え、主体的・探究的に学ぶ姿勢を培う。
- ウ 主体的な活動を促し、他者との関わりの中で成長を実感できる機会を創出する。
- エ 検定取得の機会を保障し、進路選択に関する指導の充実を図る。
- オ 学科やコースの特色を生かし、福祉の心や豊かな感性を醸成する。
- カ 地域を愛する心を育てるとともに、地域・保護者から信頼される魅力ある学校を目指す。
- キ 安全教育を推進し、安心安全な教育環境の整備に努める。
- ク 常に進化し続ける学校であるために、教職員の資質向上と働き方の改善を図る。

【定時制】

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー ～このような人を育てます～	カリキュラム・ポリシー ～このような学びを行います～	アドミッション・ポリシー ～このような人を求めます～
① 規則をしっかりと守り、地域社会の担い手として自立した成人。	① 総合的な探究の時間や特別活動でのスキルアップ学習により、健全で自律した生活を送るために自己を管理する能力の向上を図る。	① 社会や学校のルールの意味を考え、しっかりと守ろうとする生徒。
② 他者を尊重し、他者と良好なコミュニケーションを図ることができる人。	② 校外のさまざまな組織と協力しながら教育相談の体制を充実させ、生徒に寄りそう支援を行うことで、自己肯定感を育むとともに多様性を受容する態度の養成を図る。	② 相手の気持ちを大切に、まわりの人と好ましいコミュニケーションをとろうとする生徒。
③ 自らのキャリア形成をよく考え、好ましい職業観を持ち、主体的に行動できる人。	③ キャリア形成に向けた一貫性のある進路指導を通じて、生徒の多様な進路実現を図る。	③ 社会人のマナーを身につけながら、学業にねばり強く取り組み、夢に向けて努力を続けられる生徒。

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 健康で安全で規律ある生活を送ることを目指し、自己管理能力の向上と、場に応じた言動を選択できる判断力の育成を図る。(①)
- イ 生徒に寄り添う支援を行うことで、自己肯定感を育むとともに多様性を受容する態度を養成し、コミュニケーション能力を伸長する。(②)
- ウ 基本的生活習慣と勤労意識の育成、基礎学力の定着を図る。(①・②)
- エ 多様な生徒の進路実現を目指して、組織的、計画的な進路指導の充実を図る。(③)
- オ 魅力ある学校を目指し、業務の効率化、適正化を図り、外部人材の活用等地域と連携した学校づくりを推進する。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

《全日制課程》

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
自己管理能力育成のため、心身の健康の増進と基本的生活習慣の確立を図る。	高校生としての生活・学習の習慣が身に付いたと答える生徒90%以上	94%	A	目標はおおむね達成できた。定期試験に準備をして臨むという成果目標は、生徒の自主的な家庭学習を促すための成果目標であった。引き続き、目標を上回る成果を上げるべく、生徒にきめ細かな指導を行っていく。学校評議員会で、講座や会議の開催回数等は、成果目標ではなく目標達成の手段ではないかというご意見をいただいたので、次年度の成果目標設定に反映させる。
	しっかりと準備をして定期試験に臨めたと答える生徒70%以上	71.8%		
	基本的生活習慣を身に付けるための適切な指導がされていると答える生徒・保護者95%以上	98%		
	交通安全に関する講座等年2回以上	○		
	交通ルールが守れていると答える生徒100%	98.9%		
	各種アンケートやハイパーQ Uテストの結果による面談等の実施	○		
	教育相談チームの情報共有 月1回以上	○		
基礎学力の定着に加え、主体的・探究的に学ぶ姿勢を培う。	授業が分かると答える生徒95%以上	91.2%	B	宮東力（本校生徒に身につけさせたい7つの力）や探究力の向上、読書など、主体的な学びに向かう力が向上したとする成果の反面、自主学習の習慣がついたとする生徒の割合や、学びの基礎診断「スタディサポート」の国数英総合判定の数値目標については、未達成であった。次年度は、成果目標を生徒の実態に合わせ、基礎学力の定着に努める。
	生徒の宮東力自己評価向上	84.8%		
	授業改善のための授業参観・校内研修等、年間3回以上	○		
	スタディーサポートにおける国数英総合判定でC1以上の生徒50%以上	29.7%		
	探究力が向上したと自己評価する生徒60%以上	87.8%		
	探究チームの企画会議 月1回以上	○		
	自主的な学習の習慣が身に付いたと答える生徒85%以上	73.7%		
	課題の量と質が適切であったと答える生徒70%以上・教員80%以上	生徒88% 教員87.2%		
	興味を持てる本に出会えたと答える生徒50%以上	82.4%		
主体的な活動を促し、他者との関わりの中で	生徒会や委員会・係活動を通して、集団に貢献することができた答える生徒90%以上	78.7%	B	「集団に貢献することができた」とする生徒の達成状況が成果目標に到達していないのは、生徒アンケートの問いに回答しにくい部分があったため
	学校行事に積極的に参加したと答える生徒95%以上	95.7%		

成長を実感できる機会を創出する。	部活動に積極的に参加したと答える生徒95%以上	93.3%		だと思われる。今年度は問い方を改善する。部活動についても、全員加入は1年生のみであるが、達成状況アンケートには、未加入者も回答する形式になっていたため、問い方を改善する。引き続き、生徒には主体的な学校行事や部活動への参加を促す。
	地域との連携やボランティア活動へ参加する生徒70%以上	77.8%		
	部活動ボランティア実施部活動率100%	100%		
進路選択に関する指導の充実を図る。	進路目標達成のために努力していると答える生徒90%以上	88.5%	B	目標は概ね達成したが、進学指導を先頭に立つて行う「特進サポートチーム」の活用が課題である。教員は教育支援ツールを生活指導、進路指導に活用し、生み出された時間をその他の指導に効果的に充てられることとなった。
	進路指導に満足していると答える生徒・保護者90%以上	91.7%		
	特進サポートチームの情報共有・企画会議 月1回以上	△		
	キャリアサポートチームの情報共有・企画会議 月1回以上	○		
	進路シラバスや教育支援ツールを面接や生活・進路指導に活用した教員80%以上、生徒80%以上	生徒82% 教員87.2%		
学科やコースの特色を生かし、福祉の心や芸術に親しむ豊かな感性を醸成する。	福祉フェアの来場者、前年比増	カウントせず	A	本校の特色である、普通科アートコースと福祉科とは、それぞれ地域交流、地域連携に力を入れている。特に、「福祉フェア」は、福祉科の学びを地域にPRして、介護福祉のイメージアップを図るもので、今年度が3回目の開催となるが、富士宮市の子ども向けイベントと同時に市内のショッピングモールで開催したため、来場者数を数えなかった。次年度は、更に発展させ、本校で介護教室を実施予定である。
	地域・施設・他校との連携年5回以上	○		
	介護実習が充実していたと答える生徒100%	96.7%		
	介護福祉士国家試験の合格率100%	100% (R05)		
	進路実現目標達成率80%以上	75%		
	校外作品展・コンテスト等への出品率100%及び受賞20件以上	100%		
	アートコース作品展への来場者700名以上(740人)	100%		
	地域機関からの依頼作品作成及び地域との連携5件以上(8件)	100%		
地域を愛する心を育てるとともに、地域や保護者から信頼される魅力ある学校を	学校からの情報発信を通して、学校での生徒の様子がわかると答える保護者80%以上	97.3%	A	学校ホームページによる情報発信は174回、SNSによる情報発信は800回を超えた。また、オープンスクール、体験入学等の参加者アンケートによると、「参加してよかった」と回答した参加者は98%を超え、参加者の満足度が高い。次年度もプ
	学校HPやSNSによる情報発信年500回以上	○		
	中学生一日体験入学、オープンスクールに参加してよかったと答える参加者80%以上	○		

目指す。	(オープンスクール春100%、秋99%、体験入学96%)			ログラムに工夫を凝らし、満足度が高い学校公開を行っていく。
安全教育を推進し、安心安全な教育環境の整備・美化に努める。	災害時の学校の対応を理解し、自分のできる準備をしていると答える生徒95%以上	90.8%	B	防災教育の柱として実施している防災訓練は、今年度は生徒に事前通達を行わずに抜き打ちで行うなど、防災意識を高める工夫をしている。しかし、災害時の対応について、まだ指導の余地があるため、次年度は改善する。
	校内美化が保たれていると答える生徒90%以上	92.3%		
	学校の施設設備は安全に配慮されていると答える生徒95%以上	94.7%		
	施設設備に係る生徒事故0件	0件		
常に進化し続ける学校であるために、教職員の資質向上と働き方の改善を図る。	信頼できる先生がいると答える生徒90%以上	91.7%	A	生徒と教員の信頼関係は強く、課題発生時の迅速で丁寧な対応につながっている。定時退勤日は、設定したものの、遵守に課題が残ったので、次年度は定時退勤日の設定を改善する。
	教職員不祥事0件	0件		
	教職員ストレスチェック結果の向上(B 普通)	○		
	定時退勤日の設定	○		
	夏季休暇取得率100%	98%		

(2) 令和7年度の取組目標・達成方法・成果目標

取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
自己管理能力育成のため、心身の健康の増進と基本的生活習慣の確立を図る。	高校生として好ましい生活・学習習慣を身に付けるための指導を行い、高校生活の充実を図る。	高校生としての生活・学習の習慣が身についたと答える生徒90%以上
		しっかりと準備をして定期試験に臨めたと答える生徒70%以上
	「明るい挨拶」、「時間管理」、「身だしなみ」、「約束を守る」、「連絡・報告・相談」の指導を徹底する。	基本的な生活習慣を身に付けるための適切な指導がされていると答える生徒・保護者95%以上
	交通安全に関する講座を年2回以上行い、交通ルール遵守の意識を高めるとともに、登下校時の安全の徹底を図る。	自転車指導を受けた生徒月平均3件以内
		交通ルールが守れていると答える生徒100%
	教育相談体制の充実と関係職員間の連携強化を図り、いじめ根絶・不登校予防・特別支援教育	安心して学校生活を送れていると答える生徒95%以上

	を推進するために、ハイパーQU 等の各種テストやアンケートを実施する。また、教育相談チームの情報共有を月一回以上実施する。	自身がいじめを受けたり、他人がいじめを受けているのを見たりしたことがあると答える生徒 0 %
基礎学力の定着に加え、主体的・探究的に学ぶ姿勢を培う。	育てたい力（宮東力）を意識するとともに、ICT機器を活用する等、分かる授業・楽しい授業のための授業改善を行う。授業改善のための授業参観・校内研修等を、年間3回以上実施する。	授業が分かると答える生徒 95%以上 授業改善に積極的に取り組んだと答える教員100%
	「高校生のための学びの基礎診断」測定ツールを活用し、正しい学力把握と指導改善を行う。	スタディーサポートにおける国数英総合判定でC 2以上の生徒 50%以上
	「桜丘タイム（総合的な探究の時間）」を組織的・体系的に展開し、探究活動の充実を図る。探究チームの企画会議を月に一回以上行う。	探究力が向上したと自己評価する生徒 60%以上
		桜丘タイムを組織的・体系的に展開し、探究活動の充実を図れた。」とする教員が70%以上
	自主的な家庭学習習慣が身につくよう、適切な課題を計画的に設定し、継続的に粘り強い指導を行う。	自主的な学習の習慣が身に付いたと答える生徒 85%以上
		課題の量と質が適切であったと答える生徒 70%以上・教員 80%以上
	朝読書を活用し、読書推進に努める。	興味を持てる本に出会えたと答える生徒 50%以上
主体的な活動を促し、他者との関わりの中で成長を実感できる機会を創出する。	生徒会、委員会、学年、クラス等で生徒が主体的、協働的に活動する機会を設ける。	生徒会や委員会・係活動を通して集団に貢献することができたと答える生徒 90%以上
	桜丘祭等、生徒主体の学校行事の充実を図る。	学校行事に積極的に参加したと答える生徒登録生徒の 95%以上
	部活動への主体的取組により達成感と自己有用感の醸成を図る。	部活動に積極的に参加したと答える生徒 95%以上
	地域との連携やボランティア活動への参加を推奨する。	地域との連携やボランティア活動へ参加する生徒 70%以上
	国際交流活動を通して、海外ルーツの方と交流する機会を年間5回程度設定する。	地域の海外ルーツの方と積極的に交流し、海外への興味が深まったとする生徒が参加者の 70%以上
	海外研修制度に積極的に応募し、研修成果を全校に報告することで、探究力が向上し、生徒の視野が広がる。	海外研修制度への応募数延べ 10件以上。
	「1部活動1ボランティア活動」とし、主体的に地域と関わる姿勢を養う。	実施部活動率 100%

検定取得の機会を保障し、進路選択に関する指導の充実を図る。	実用英語技能検定、漢字検定の受検機会を保障し、補講を実施して取得を支援する。	実用英語技能検定、漢字検定の受検者が生徒数の 20%以上、合格者が受検者の 40%以上
	生徒の主体的な進路目標達成を支援できるよう、教職員の進路指導スキル向上を図り、多様な進路に対応できる、個に応じた進路支援体制を強化する。そのために、特進サポートチーム、キャリアサポートチームの情報共有・企画会議を月に一回以上実施する。	進路目標達成のために努力していると答える生徒 90%以上
		進路指導に満足していると答える生徒・保護者 90%以上
		進学希望者の進路実現率 100%
		就職希望者内定率100%
	進路シラバスや教育支援ツールを有効に活用し、3年間を通した計画的な進路指導・支援を行う。	進路シラバスや教育支援ツールを面接や生活・進路指導に活用した教員 80%以上、生徒 80%以上
学科やコースの特色を生かし、福祉の心や芸術に親しむ豊かな感性を醸成する。	福祉の重要性を理解し、生涯にわたって地域福祉や福祉社会に主体的に取り組む心を育てる。そのために、地域・施設・他校との連携を年に5回以上行い、地域に向けた福祉講座を実施する。	福祉講座の来場者が各10人以上
		地域連携により、介護福祉への興味・理解がより深まった生徒 80%以上
	福祉科の実習への主体的な取組と介護福祉士国家試験への実践的な指導を行う。	介護実習が充実していたと答える生徒 100%
		介護福祉士国家試験の合格率 100%
	美術の専門的な知識・技能を身に付け、感性を育むとともに、進路目標を達成するための個別指導を行う。	進路実現目標達成率 80%以上
		校外作品展・コンテスト等への出品率 100%及び受賞 20 件以上
地域を愛する心を育てるとともに、地域や保護者から信頼される魅力ある学校を目指す。	アートコースの魅力を広く浸透させ、地域に根ざす特色ある教育活動を展開する。地域等からの作品制作等の連携を5件以上行う。	アートコース作品展への来場者 700 名以上
		多様な人々と課題を共有し、協働して取り組めた生徒70%以上
	保護者との連携を深め、多様な媒体を用いて学校の情報や魅力を効果的に発信する。	PTA通信など、学校からの情報発信を通して、学校での生徒の様子がわかると答える保護者80%以上
安全教育を推進し、安心安全な教育環境の整備・美化に努める。	中学生1日体験入学やオープンスクール等の内容の充実を図る。	学校HPやSNSによる情報発信 年 500 回以上
	防災訓練の充実を図り、防災意識を高め、日常の行動変容につなげる。	参加してよかったと答える参加者 80%以上
	毎日の清掃活動とゴミの分別の推進を通して、持続可能な環境や社会への意識を高める。	災害時の学校の対応を理解し、自分にできる準備をしていると答える生徒 95%以上
		校内美化が保たれていると答える生徒 90%以上

	定期的な施設設備点検を行い、危険個所の周知や改善に努める。	学校の施設設備は安全に配慮されていると答える生徒 95%以上 施設設備に係る生徒事故 0 件
常に進化し続ける学校であるために、教職員の資質向上と働き方の改善を図る。	業務改善により生徒と直接かかわる時間を確保し、生徒理解に努め、生徒とより良い信頼関係を構築する。	信頼できる先生がいると答える生徒 90%以上
	教職員のコンプライアンス意識を高める。	教職員不祥事 0 件
	教職員が協働意識を高め、やりがいを持って魅力ある学校づくりに努める。	教職員ストレスチェック結果の向上 ➡ B 以上
	教職員のワークライフバランスの実現を推進する。	定時退勤日を設定し、退勤日の定時退勤実施率50%以上 夏季休暇取得率 100%

《 定時制課程 》

(1) 令和 6 年度の取組目標への評価及び成果と課題

取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
健康で安全で規律ある生活を送ることを目指し、自己管理能力の向上と、場に応じた言動を選択できる判断力の育成を図る。	出席率90%以上 遅刻率 5 %未満	94% 6 %	B	【成果】 長期欠席者や退学者を除けば出席状況がかなり改善し、目標を達成できた。遅刻・早退等の生徒に対し、指導を継続的に行うことで、時間を守る意識が高まった。 授業欠課時数を全職員で情報共有し、欠席や遅刻の多い生徒に対して複数の教員で指導にあたるなど、協力体制が構築された。 「宮東スタンダード（自己評価シート）」を実施し、生徒が自身の生活を振り返り、自己分析させることで生徒指導に役立てた。 欠席遅刻早退を少なくする指導を継続して行うことにより、生徒の意識も高まってきている。欠席が多い生徒に対して、教員間で情報共有し教員全体で指導・支援をする体制が機能している。 計画的に各種健康診断や講習を実施できた。給食指導や登校指導、職員間の情報共有によって、生徒の様子について多角的に把握ができた。 防災訓練では、避難ルートの確認だけでなく、避難ルートの問題点や課題を生徒と考える時間を取れた。よりよい避難訓練にするための方策も生徒に考える時間を作れた。その中で、緊張感がないこと、避難中もおしゃべりをしている人がいることが生徒から課題
	安全意識向上のための行事実施年 5 回以上 「安全意識が高まった」生徒 75%以上	8 回 65%		
	保健だより発行 年 10 回以上	10 回		
	登校指導 150 日以上	187 日		
	栄養バランス等を意識しながら「1 日 2 食以上食べている」と答える生徒 70%以上	82%		
	治療勧告を受けた生徒の受診率 40%以上 「学校や社会のルールをしっかりと守っている」と答えた生徒 95%以上	64% 96%		

				として挙げた。 【課題】 例年通り、1学期末と2学期初に出席率が大きく落ちたので、中だるみさせないような指導の必要がある。 職場や仕事の個人的な都合を理由にしたり、安易に遅刻を繰り返したりする生徒に対しての方策が求められる。遅刻が認められる基準を明確にして指導を行う必要がある。 安全意識向上のための行事を実施したことにより、生徒の安全に対する意識は向上したと思うが、今後も引き続き生活安全・交通安全の指導を継続していく必要がある。 歯科、視力、耳鼻科の再検査結果を提出した生徒は若干名のため、再検査結果と受診状況の把握が難しい。しかし、学校評価アンケートでは治療勧告を受けた生徒の受診率が67%という結果が出た。本人・保護者の理解を得て、必要な医療につなげられるよう支援していきたい。
生徒に寄り添う支援を行うことで、自己肯定感を育むとともに多様性を受容する態度を養成し、コミュニケーション能力を伸長する	「信頼できる教師がいる」と答えた生徒 90%以上	94%	A	【成果】 学期当初面談や三者面談に加え、日常的に生徒の様子について職員間で情報共有し、欠席理由について不明な点がある場合は、必ず保護者等確認したりして生徒の実態把握に努めることができた。 生徒に寄り添った指導、支援により良好な関係が作られた。 学校行事の機会を通して生徒が人間関係を築き、自己肯定感を育むことができた。 今年度はSCによる8分間カウンセリングに4年生も対象に加えていただき、全校生徒に対して実施することができた。SCのカウンセリングからSSW派遣依頼や、医療機関受診につながったケースがあった。 【課題】 家庭等の協力が得られず対応に苦慮するので、確実な連携方法を検討する必要がある。 生徒が積極的に行事へ参加できるよう工夫し、満足度を向上させる。 SCと生徒の面談後、養護教諭とSCで共有する場を設定した。養護教諭から見た生徒の学校での様子をSCに伝え、より充実したカウンセリングになるこ
	面談実施 年4回以上	4回		
	SCやSSWを活用した情報交換の場の設定 年10回以上	16回		
	学校行事の満足度 80%以上	92%		
	望ましい人間関係を築くための行事实施 年3回以上			

				とを目指した。また、養護教諭の生徒対応についても助言をいただき学びになった。教職員が SC と話す場が設定出来たらよいかもしれない。
基本的な生活習慣と勤労意識の育成、基礎学力の定着を図る。	「授業の内容を理解できている」と答えた生徒 90%以上	94%	A	【成果】 プリントやワークシート学習を軸に、主体的・対話的な手法を取り入れた授業づくりに努め、基礎学力の定着を図ることができた。また、ICTを効果的に活用した指導方法を取り入れ、授業改善が図られた。 スキルアップテストを1～4年生まで共通問題で行い、全校生徒の正答率が55%であった（令和5年度51%）。実施の際には、成績上位者を目指して真剣に努力する姿や不得手な科目へ最後まで取り組む姿がみられた。 就職希望者については学級担任及び企業の就職担当者や外部講師を招き、就職対策を行い、意識を高めることができた。 【課題】 学習内容を十分に定着できていない一方で、授業の内容を理解することができていると答える生徒がいる矛盾がある。学力の確実な定着へ結び付ける方法を模索したい。 スキルアップテストの結果を分析し、授業改善やキャリア教育の充実につなげる取組を検討したい。 卒業後の進路を見据え、自分の将来について深く考えさせることが必要。
	スキルアップテストを年6回（6種類）実施	6回		
	授業改善・生徒理解に関する研修会の実施 年3回以上	4回		
	授業アンケートを年3回実施	3回		
	就職希望者の応募前職場見学参加率 100%	100%		
多様な生徒の進路実現を目指して、組織的、計画的な進路指導の充実を図る。	卒業年度の進路決定率 100%	100%	A	【成果】 学級担任を中心に生徒一人ひとりに対して丁寧な進路指導をすることにより、就職希望の生徒について進路を決定することができた。 進路行事を計画的に実施し、外部講師を積極的に招聘することにより 【課題】 1・2年生のうちからキャリア教育に関する行事などを通じて、進路に対する意識を深めていく必要がある。
	「キャリア教育計画」の整備や「進路の手引き」の活用を目的とした会議 実施年3回	3回		
魅力ある学校を目指し、業務の	説明会等の実施 年5回以上	7回	A	【成果】 新学習指導要領の年次進行による適用の3年目であり、意見交換などを積

効率化、適正化を図り、外部人材の活用等地域と連携した学校づくりを推進する。	学校行事のホームページ更新 年 25 回以上	41 回 (1 月現在)	極的に行い、その対応のために必要な業務の見直しを行うことができた。カリキュラム・マネジメントの充実を図るため、生徒の興味・関心、特性などの実態に、より適した教育課程編成を行った。 地域人材を活用することにより、生徒の意識が向上した。 中学生や保護者、保証人の方などの参考になるように普段から学校行事の写真を撮り、生徒の様子を外部に発信を行った。 【課題】 学習評価など、軌道に乗ってきたところもあるが、まだまだ充分でないところがある。新学習指導要領が年次進行で適用されていくなかで、これからも修正していく必要がある。 生徒指導及び進路指導などにおいて積極的に外部講師などを招き実施していく必要がある。 写真でも十分に定時制の生徒の様子は伝わるが、文化祭などにおける生徒作品や動画のコンテンツを追加することで、さらに魅力あるホームページを目指す。
	分掌での業務見直し 各学期 1 回 年 3 回以上	3 回	
	地域人材を活用した講演会等実施 年 10 回以上	18 回	

(2) 令和 7 年度 of 取組目標・達成方法・成果目標

取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
健康で安全で規律ある生活を送ることを目指し、自己管理能力の向上と、場に応じた言動を選択できる判断力の育成を図る。	「授業出席カード」や「共有ファイル」で、授業の遅刻・早退・欠課の状況を全体で把握する。 遅刻の多い生徒には、定められたルールに則って指導し、時間を守る意識を高める。	出席率90%以上 遅刻率5%未満
	交通安全教室、保健講座、薬学講座、防災講座、防災訓練等を実施し、安全意識を高める。安全意識向上のための行事実施年5回以上 「保健だより」により、生徒自身の健康への意識を高める。保健だより発行年10回以上	「安全意識が高まった」生徒75%以上 健康安全に留意した生活を送っていると答える生徒75%以上
	登校指導等により、健康管理や感染症対策への意識づけを徹底する。登校指導150日以上	うがい、手洗い、消毒等心掛けていると答える生徒75%以上
	食育を重視し、バランスの良い食生活による健康への意識付けを図る。	栄養バランス等を意識しながら「1日2食以上食べている」と答える生徒70%以上
	家庭と連絡を密にし、治療勧告を受けた生徒の受診指導を行う。	治療勧告を受けた生徒の受診率40%以上
	「宮東スタンダード」で、毎月の自己行動等を振り返らせ、自己分析の機会をつくる。 問題行動へ迅速で組織的な対応をし、安心安全な	「学校や社会のルールをしっかりと守っている」と答えた生徒95%以上

	環境づくりに努める。	
	「授業出席カード」や「共有ファイル」で、授業の遅刻・早退・欠課の状況を全体で把握する。 遅刻の多い生徒には、定められたルールに則って指導し、時間を守る意識を高める。	出席率 90%以上
生徒に寄り添う支援を行うことで、自己肯定感を育むとともに多様性を受容する態度を養成し、コミュニケーション能力を伸長する。	生徒の観察や生徒への声掛け等を通じて、生徒の変化等を把握し、いじめの未然防止と早期発見、早期対応に努める。登校指導 150 日以上 毎学期の面談を行い、生徒情報を共有する。 三者面談等を行い、家庭との共通理解を得る。 S C や S S W 等の外部人材や外部機関を有効に活用する。S C や S S W を活用した情報交換の場の設定年10回以上	「信頼できる教師がいる」と答えた生徒 90%以上
	より多くの生徒が積極的に取り組むことができるよう学校行事を工夫する。	学校行事の満足度 80%以上
	ソーシャルスキルトレーニング講座等を実施し、H R 活動を中心とした学校生活を充実させ、社会性を高める。望ましい人間関係を築くための行事実施 年3回以上	学校生活に満足していると答える生徒 90%以上
	授業プリントを工夫し、I C T を活用することで、わかる授業・参加したくなる授業を目指す。小テスト等を実施し基礎・基本の定着をはかる。	「授業の内容を理解できている」と答えた生徒90%以上
基本的な生活習慣と勤労意識の育成、基礎学力の定着を図る。	生徒が主体的・対話的に学習に取り組む手法を取り入れるなどして、授業力の向上に努める。授業改善・生徒理解に関する研修会の実施 年3回以上	授業に積極的に取り組んでいると答える生徒90%以上
	新学習指導要領に対応した観点別学習評価の実施を進めるとともに、「総合的な探究の時間」の検討などを行う。スキルアップテストを 年6回（6種類）実施	スキルアップテスト合格率 85%以上
	生徒による「授業アンケート」や「高校生のための学びの基礎診断」の活用、及び先進の授業見学を通じて、授業内容や指導方法の見直しを図る。授業アンケートを年3回実施	授業内容を工夫していると答える教員 100%
	外部講師を招いた講演・講話を設定し、また地元企業との連携を強め、就業意識を高める。	就職希望者の応募前職場見学参加率100%
多様な生徒の進路実現を目指して、組織的な進路指導の充実を図る。	ハローワークとの連携、キャリア講座の実施、検証を通して「キャリア教育計画」を整備する。 「進路の手引き」を活用し、生徒の実態に合わせた系統的な進路活動を実践する。 就職希望者への早期の面接練習、進学希望者に対する個別指導など、個に対する指導を充実させる。	卒業年度の進路決定率 100%
	進路資料を充実させ、生徒の主体的な活動に対応する環境を整える。「キャリア教育計画」の整備や「進路の手引き」の活用を目的とした会議 実施年3回	進路実現に向かって努力していると答える生徒90%以上

魅力ある学校を目指し、業務の効率化、適正化を図り、外部人材の活用等地域と連携した学校づくりを推進する。	学校見学会や学校説明会、中学校訪問を実施し、定時制教育への正しい理解を広める。説明会等の実施 年5回以上	学校見学会で定時制の魅力を感じたと答える参加者80%以上
	ホームページや学校紹介動画を充実させるなどして学校生活の広報活動を行う。学校行事のホームページ更新 年25回以上	学校見学会でホームページを見て面白いと答える参加者80%以上
	各分掌で業務改善を推進し、行事の充実や業務の適正化を図る。分掌での業務見直し 各学期1回 年3回以上	学校行事の満足度 80%以上
	地域の人材を活用した学校行事を実施し、地域との連携強化に努める。地域人材を活用した講演会等実施 年10回以上	業務の効率化・適正化が図られていると答える教員100%

4 監査対象期間における特色ある取組

《全日制課程》

年度	取 組 概 要	成果及び課題
令和 6年度	(1) 学力の定着 ア 「宮東生に付けたい7つの力」を職員の十分な理解を図った上で、「宮東生に付けたい力」の確実な定着を図る。 各教科、総合的な探究（学習）の時間、特別活動を通して、主体性や自主性に富み、何事にも積極的に挑戦し、目標実現のために粘り強く努力できる生徒を育成する。 イ 定期訪問・校内研修 5月にセンターの指導主事による、「観点別評価」について昨年に引き続き、研修を行った。また、6月、10月には授業公開週間を、7月には常葉大学大学院学校教育研究科研究科長の久米昭洋先生によるコーチングの研修を行い、生徒の自主的な課題発見や課題解決につながる教員の言葉かけについて研修した。総合探究「桜丘タイム」の発展にもつながる研修設定である。	【成果】 ・5月のセンターの指導主事による研修では、資料配布をデジタルで行うなど、本校教職員のICTスキルの向上も確認できた。 ・10月の定期訪問では、観点別評価について5月の研修をもとに取組状況の確認を行い、継続した研修ができた。引き続き授業改善を進める。 ・6月、10月の授業公開週間では互いに授業を見合い、各教科で合評会を行った。 ・ 【課題】 ・授業だけでなく、さまざまな機会を通じて「宮東力」の浸透を図る。 ・生徒の自主的な学習時間伸長による基礎学力の定着のために、コーチングの技術等を学級経営、授業、特別活動等で実践していく。
	(2) 福祉科、アートコース（美術） ア 福祉科 介護福祉士国家試験の合格に向けて生徒の意識付けを行う。 介護実習では、高齢者や障害者の分野別に応じた学習を行い、介護現場における日常生活支援を通して、介護に関する知識や技術を習得する。他者とのかかわりを通して思いやりの気持ちを育む。 イ アートコース 授業と部活動の両場面で美術の基礎	【成果】 《福祉科》 ・介護実習は、順調に実施することができた。介護福祉士国家試験も全員、合格できた。 ・富士宮西高校生徒が主催したイベントに、福祉科生徒がアロマハンドケアで参加するなど、地域向けイベントを行い、日頃の学びの成果を報告できた。 《アートコース（美術）》 ・全国高文祭に3年生が出場し、下級生の意欲も高まった。また、地域の企業やデ

	を培い、専門性を高める。 外部での活動を積極的に行う。	ザイン会社と共同して、防災設備会社のショーウインドウデザインを手がけた。 【課題】 受け入れる施設側の新型コロナウイルス対策に従い、介護福祉実習を行う必要があるため、施設の対応によっては実習期間内に実習が終了しない生徒がいた。長期休業に補充を行う等の対応で、全員が実習を完了できた。
	(3) 地域への情報提供、交流 広報活動として学校ホームページの更新頻度を高める。また、学校公式SNSでの発信を頻繁に行い、適切な情報を提供する。 1部活動1ボランティア活動を通じて地域と交流する。 地域の日本語学校の学生との交流等と通じ、生徒の主体性と国際性を高める。	【成果】 - 学校公式SNSでは、Instagramでフォロワーが3500人に達するなど、徐々に見ていただける方が増えている。 - 国際交流は大変好評で、これをきっかけに短期海外留学や県の海外訪問事業に応募する生徒が増えた。国の事業でシンガポールに、県の事業でモンゴルに、富士宮市の事業でベトナムに、個人でイギリスに語学留学するなど、海外で学ぶ意欲を持つ生徒が増えた。 - 富士宮市と合同で、子供向けのイベント「宮あつホーム」を、福祉科のイベント「福祉フェア」と合同開催するなど、地域との交流を積極的に行った。 【課題】 - 中学生やその保護者が知りたい情報を適切に配信する。
令和 7年度	(1) 学力の定着 ア 検定の受検を奨励し、受検者に補講を実施する等で、生徒が自主的に学ぶ意欲を伸ばし、ひいては主体的な学ぶ意欲を高める。 イ 校内研修 6月、10月には授業公開週間を行い、教科毎の合評会を開催する。 校内研修テーマを「発達指示的な生徒指導の充実」として、生徒が自発的・主体的に自らを発達させていく過程を教員が支えるスキルを身に付け、生徒の自発的な家庭学習習慣の定着を目指す。	【成果】 6月の授業公開週間では互いに授業を見合い、各教科で合評会を行った。 【課題】 9月の定期訪問で発達指示的な生徒指導について研修し、引き続き授業改善を進める。 - 生徒の自主的な学習時間延長による基礎学力の定着のために、コーチングの技術等を学級経営、授業、特別活動等で実践していく。
	(2) 福祉科、アートコース ア 福祉科 介護福祉士国家試験の合格に向けて生徒の意識付けを行う。 介護実習では、高齢者や障害者の分野別に応じた学習を行い、介護現場における日常生活支援を通して、介護に関する知識や技術を習得する。他者とのかかわりを通して思いやりの気持ちを育む。	【成果】 《福祉科》 1学期の介護実習は、順調に実施することができた。 《アートコース》 - 全国高文祭に3年生が出場し、下級生の意欲が高まった。 - 地域の商店街の祭りで黑板アトラライブペインティングを行うなど、地域連携活動が発展している。

	イ アートコース 授業と部活動の両場面で美術の基礎を培い、専門性を高める。 外部での活動を積極的に行う。	【課題】 ・地域への要請に応える活動と、福祉科では授業や実習のスケジュール調整、アートコースでは各種コンクールへの応募機関との調整が必要になっている。生徒に必要な力を授業で身に付けさせ、地域に還元する活動は非常に意義深いことなので、持続可能な方法を探っていく。
	(3)国際交流活動 一昨年度、昨年度と実施していた、「グローバルハイスクール」の指定が終了したが、持続可能な形で国際理解教育、国際交流活動を継続している。各種海外研修への生徒の参加を支援し、地域の日本語学校の学生との交流等を通じ、生徒の主体性と国際性を高める。	【成果】 ・インターナショナルカフェとして、地域の日本語学校の学生や、交換学生と交流を行った。生徒が授業で学んだ英語力で異文化交流を進めている。 ・静岡県が実施する韓国への訪問事業では、10人の募集に対して、本校生徒が2人、選抜された。国際理解の意義と、学びの地域への還元について、理解が深まっている。 【課題】 ・本校独自の海外研修を企画したが、費用が高額であることなどで、実施できなかった。

《 定時制課程 》

年度	取 組 概 要	成果及び課題
令和 6 年度	(1) 基礎学力の定着 全学年、共通問題による「スキルアップテスト」を6科目(国語・数学・英語・理科・社会・一般常識)、各1回実施。成績上位者を全校集会で表彰するとともに、下位者へは学期末に丁寧な補講を実施した。	【課題】 ・勉強をするという意識を持ってない生徒もいるので、解答できた喜びや達成感を味わえるようにすることで意欲を高めた。
	(2) SCやSSW等の外部人材や外部機関と連携した支援 様々な問題を抱える生徒や保護者への継続的な支援を行う組織づくりを行い、SC(スクールカウンセラー)やSSW(スクールソーシャルワーカー)、市の関係機関各所と密に連携を図る。	【成果】 ・外部機関に協力を得て、放課後カフェを実施し、生徒がほっとできる場を作った。また、市の関係機関等を含めたケース会議を実施し、生徒や保護者への継続的内戦ができるよう取り組んでいる。 【課題】 ・人間関係に悩みを抱える生徒たちに対しても教員以外でも相談できる場が必要に感じている。
	(3) 自己管理能力の向上 「宮東スタンダード」で毎月の自己目標を立て、その行動を振り返ることで自己分析を行い、次に何をすべきか考えさせる。	【成果】 ・自分の行動をPDCAサイクルで可視化ができるようになった。 【課題】 ・目の部分しか考えられない生徒もいるので、将来を見据えた目標に取り組ませたい。

	(4) 多様な生徒に対して、計画的な進路指導の充実 様々な企業や学校等、分野別に外部講師を招いて出前授業を行うキャリア講座の実施や生徒の希望する企業や学校の見学を行う。	【課題】 ・アルバイトができない生徒もいるのでそのような生徒に対し、キャリア教育としてどのような支援ができるか。
令和7年度	(1) 基礎学力の定着 全学年、共通問題による「スキルアップテスト」を6科目(国語・数学・英語・理科・社会・一般常識)、各1回実施。成績上位者を全校集会で表彰するとともに、下位者へは学期末に丁寧な補講を実施した。	【課題】 ・勉強をするという意識を持ってない生徒もいるので、解答できた喜びや達成感を味わえるようにすることで意欲を高めた。
	(2) SCやSSW等の外部人材や外部機関と連携した支援 様々な問題を抱える生徒や保護者への継続的な支援を行う組織づくりを行い、SC(スクールカウンセラー)やSSW(スクールソーシャルワーカー)、市の関係機関各所と密に連携を図る。	【成果】 ・外部機関に協力を得て、放課後カフェを実施し、生徒がほっとできる場を作った。また、市の関係機関等を含めたケース会議を実施し、生徒や保護者への継続的関わりができるよう取り組んでいる。 【課題】 ・人間関係に悩みを抱える生徒たちに対しても教員以外でも相談できる場が必要に感じている。
	(3) 自己管理能力の向上 「宮東スタンダード」で毎月の自己目標を立て、その行動を振り返ることで自己分析を行い、次に何をすべきか考えさせる。	【成果】 ・自分の行動をPDCAサイクルで可視化ができるようになった。 【課題】 ・目先の部分しか考えられない生徒もいるので、将来を見据えた目標に取り組ませたい。
	(4) 多様な生徒に対して、計画的な進路指導の充実 様々な企業や学校等、分野別に外部講師を招いて出前授業を行うキャリア講座の実施や生徒の希望する企業や学校の見学を行う。	【成果】 ・将来の正社員採用を念頭においた、アルバイトを学校から斡旋し、生徒が採用された。 【課題】 ・アルバイトができない生徒もいるのでそのような生徒に対し、キャリア教育としてどのような支援ができるか。
	(5) 魅力ある学校を目指した情報発信 ホームページや学校紹介動画の充実を図る。	【成果】 今年度も様々な行事に取り組んでいるが、実際の生徒の様子を発信することで定時制の魅力を発信している。行事だけでなく、授業の様子などの配信もおこなった。 【課題】 静止画だけでなく動画を作成する。

5 教職員について

(1) 異動状況

《全日制課程》

区 分	教 諭	暫 定 再 任 用 教 諭	主 査	小 計	A L T	非 常 勤 講 師	非 常 勤 労 務 職 員	非 常 勤 嘱 託 員	部 活 動 指 導 員	小 計	合 計
転 出 者	6	1	1	8							8
退 職 者	3	2		5	1	1		1		3	8
転 入 者	4	3	1	8	1	3				4	12
新 任 者	1			1		2	1	1	1	5	6
役職定年											
差引増減	△ 4	0	0	△ 4	0	4	1	0	1	6	2

《定時制課程》

区 分	教 頭	暫 定 再 任 用 教 諭	小 計	教 諭 (臨)	非 常 勤 講 師	小 計	合 計
転 出 者	1		1		1	1	2
退 職 者		1	1		1	1	2
転 入 者							
新 任 者	1		1	1		1	2
役職定年							
差引増減	0	△ 1	△ 1	1	△ 2	△ 1	△ 2

(2) 現員数

(令和 7 年 6 月 30 日現在)

区 分	校 長	副 校 長	教 頭	教 諭	暫定再任用教諭	養護教諭	事務長	主 査	主 任	主 事	小 計	教諭（任短）	教諭（臨）	実習助手（臨）	非常勤講師	非常勤嘱託員	非常勤労務職員	部活動指導員	A L T	スクールカウンセラー	小 計	合 計
全日制	1	1	1	26	7	1	1	2	1		41	1		1	9	1	4	1	1	2	20	61
定時制			1	6		1				1	9		1		3					1	5	14
計	1	1	2	32	7	2	1	2	1	1	50	1	1	1	12	1	4	1	1	3	25	75

(3) 健康管理について

	令和6年度	令和7年度
目的	・教職員の健康管理については十分に留意し、各種健康診断を確実に実施することで、疾病の早期発見、早期治療につなげる。職員の精神的な不調についても同様に早期発見に努める。 ・仮設校舎での生活のため特に注意深く観察し、職場環境の改善を図る。	・教職員の健康管理については十分に留意し、各種健康診断を確実に実施することで、疾病の早期発見、早期治療につなげる。職員の精神的な不調についても同様に早期発見に努める。 ・新築校舎の生活のため、不具合等の有無を注意深く観察し、職場環境の改善を図る。 ・「定時退勤日」を各自で設定し、ワークライフバランスを励行する。
実績	・結核検診を4月に、生活習慣病健診を5月に実施。6月下旬より人間ドック等の受診開始している。 ・教職員保健指導実施予定。 ・ストレスチェック実施予定。 ・定時制では8月、全日制では1月に職員対象の救命講習を計画。 ・毎月80時間以上の超過勤務者に対し「労働者の疲労蓄積度自己診断チェックリスト」を実施した。また、連続する場合は管理職と面談を行った。	・結核検診を4月に、生活習慣病健診を5月に実施。6月下旬より人間ドック等の受診開始している。 ・教職員保健指導実施予定。 ・ストレスチェック実施予定。 ・定時制では8月、全日制では1月に職員対象の救命講習を計画。 ・毎月80時間以上の超過勤務者に対し「労働者の疲労蓄積度自己診断チェックリスト」を実施していく。また、連続する場合は管理職と面談を行う。
評価と課題	・生活習慣病検診結果の通知を円滑に行い、疾病異常者の早期受診を促す。 ・毎月80時間以上の超過勤務者に対し「労働者の疲労蓄積度自己診断チェックリスト」を実施し、結果を健康管理医と共有することで職員の健康管理に活用した。	・生活習慣病検診結果の通知を円滑に行い、疾病異常者の早期受診を促す。 ・毎月80時間以上の超過勤務者に対し「労働者の疲労蓄積度自己診断チェックリスト」を実施し、結果を健康管理医と共有することで職員の健康管理に活用している。 ・超過勤務の削減と職員のワークライフバランスの推進のために、定時退勤日を各自で設定し、勤務時間管理を主体的に行う。

(4) 教職員の研修について

《全日制課程》

	令和6年度	令和7年度
目的	・校内研修テーマ：「生徒が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができる学習評価と授業改善を実施し、観点別評価を確立させる」（3年目） 「宮東生に付けたい7つの力」を具現化するために、教員一人一人が共通の認識を持ち、継続的・能動的に「学びに向かう姿勢を育む授業」を実践する。 ・不祥事根絶研修を毎月実施する。 ・総合教育センターの研修を活用する。	校内研修テーマ「発達支持的生徒指導」 教員が自らの生徒指導を振り返り、発達支持的生徒指導を行い、全ての生徒の成長を促す開発的生徒指導ができるようになる。 (1年目) ・不祥事根絶研修を毎月実施する。 ・総合的な探究の時間に関する希望参加研修を実施する。 ・総合教育センターの研修を活用する。
研修内容	校内研修（センター指導主事による） 「観点別評価」（3年計画の3年目） 5月21日（火）13:30～15:00	校内研修（センター指導主事による） ・「発達指示的な生徒指導」（3年計画の1年目）

・授業公開週間 6月12日～6月25日 10月に実施予定 ・公開授業(1日体験入学)11月9日(土) ・悉皆研修 初任者研修1人(体育) 2年次研修1人(数学) 7年次研修2人(英語、理科) 8年次研修2人(国語、福祉) 中堅研修Ⅰ期1人(美術) 中堅研修Ⅱ期1人(理科) ・総合教育センター指導主事の定期訪問 11月、外国語と芸術の教員が研究授業を行う。 ・授業評価アンケート 1、2学期末に実施。教員が指導力向上を意識し、授業改善を行うために活用する。 ・不祥事根絶 4月：教員への誇り・使命感(校長訓示) 職員の生徒指導に係る共通ルール 個人情報保護 5月：不適切な会計処理 会計処理の基本の伝達(事務室) 6月：ハラスメント・体罰チェックシート の実施。重点取組と基本取組の確認 7月：交通事故・飲酒運転防止 長期休業中の教職員の心構え(通知及び校長訓示) 7月：職場の雰囲気づくり(生徒指導や同僚性向上に活かすコーチング) 9月：校長訓示「教育公務員としての使命感」 10月：職場の雰囲気づくり(エクササイズ) スクールカウンセラーによる相談技法研修 11月：メンタルヘルスケア (メンタルヘルスブックの活用) 12月：県通知による注意喚起と不祥事根絶 の研修 個人情報の保持・管理(学期末成績 処理) 1月：人事評価面談での成果と課題の確認	9月12日(金)15:30～16:30 12月(日時未定) ・公開授業(授業研究週間) 5月10日(土)オープンスクール 6月5日(木)～18日(水) 8月7日(木)、8日(金)(一日体験入学) 10月10日(金)オープンスクール 10月14日(火)～24日(金) (10月は、定期訪問時の校内研修をふまえ、発達指示的生徒指導を取り入れた授業を実施、富士宮市内の公立高校にも案内予定) 11月8日(土)オープンスクール 1、2学期末に授業評価アンケートを実施 ・特別支援教育 特別支援教育コーディネータ研修の伝達 講習(7月) ・悉皆研修 初任者研修1人(家庭) 2年次研修1人(体育) 3年次研修1人(数学) 6年次研修1人(数学) 8年次研修1人(理科) 中堅研修Ⅰ期2人(数学、福祉) 中堅研修Ⅱ期1人(理科) ・総合教育センター指導主事の定期訪問 9月、理科と体育科の教員が研究授業を行う。 ・授業評価アンケート 1、2学期末に実施。教員が指導力向上を意識し、授業改善を行うために活用する。 ・不祥事根絶 4月：教員への誇り・使命感(校長訓示) 職員の生徒指導に係る共通ルール 個人情報保護 5月：児童生徒性暴力等の防止等に関する 研修 6月：重点取組と基本取組の確認 交通事故・飲酒運転防止 7月：ハラスメント・体罰チェックシート の実施。 長期休業中の教職員の心構え(通知及び校長訓示) 会計処理の基本の伝達(事務室) 8月：児童生徒性暴力等防止についての研 修(動画視聴) 9月：校長訓示「教育公務員としての使命
---	---

		感」 10月：メンタルヘルスケア (メンタルヘルスブックの活用) 11月：個人情報情報の保持・管理 (修学旅行・学期末成績処理) 12月：職場の雰囲気づくり (エクササイズ) 1月：人事評価面談での成果と課題の確認 と懇談、相談 学校評価アンケートの分析と活用 2月：年度末の会計処理の留意点 3月：1年を振り返って(意見交換)
成果と課題	【成果】5月にセンターから講師を招いての観点別学習状況の評価研修では、活発な意見が出され、より授業と評価の一体化を意識できた。また、ペーパーレスで実施できたことは、ICT化が推進していることお裏付けとなった。 【課題】 授業アンケートでは「授業がわかる」と回答する生徒が多いが、基礎学力の定着に課題があるということは、教科の目標や課題設定を見直す必要がある。評価や、生徒の学習意欲を喚起する目標設定、言葉かけ(主体的に取り組む態度)などの研修を引き続き行っていく。	【成果】 昨年まで取り組んでいた、校内のICT化の推進と授業評価研修を中心とした授業改善は、生徒の「授業が分かりやすい」(令和6年度末91.2%)という評価につながっている。また、不祥事根絶研修を毎月行い、不祥事はゼロであった。 【課題】 本校に入学する生徒は、概して自己肯定感が低く、また、適切な支援を要請できない傾向がある。また、近年は発達に特性がある生徒が入学してきている。発達支持的生徒指導のスキルを教職員が身に付けることは急務であるとして、今年度から校内研修のテーマとしている。

《定時制課程》

	令和6年度	令和7年度
目的	テーマ ICTを効果的に活用し、わかる授業・参加したくなる授業を実現し、個別最適な学びや協働的な学びを図ることで、より学習効果の高い授業を展開できるようにする。(2年目)	テーマ ICTを効果的に活用し、わかる授業・参加したくなる授業を実現し、個別最適な学びや協働的な学びを図ることで、より学習効果の高い授業を展開できるようにする。(3年目)
研修内容	ICTを効果的に活用することで、わかる授業・参加したくなる授業を実現し、個別最適な学びや協働的な学びを図ることで、より学習効果の高い授業を展開ができるようになる。 ・ICT活用授業力向上研修の伝達講習(7月) ・授業改善のためのICT活用(9月～) ・グーグルクラスルームを活用した授業実践(10月) ・課題の共有(7月～3月)	ICTを効果的に活用することで、わかる授業・参加したくなる授業を実現し、個別最適な学びや協働的な学びを図ることで、より学習効果の高い授業を展開ができるようになる。 ・Kafoot!の授業活用事例研修(6月) ・Canvaの授業活用事例研修(6月) ・ICT支援員によるICT教材の活用研修(7月) ・ICT活用授業力向上研修の伝達講習(9月)

		・授業改善のための I C T 活用研修（9 月、10 月） ・課題の共有（11 月） ・ I C T 活用の授業実践と課題等の共有・検討・改善（1 月～3 月）
成果と課題	【成果】 継続して I C T を活用した授業を行っている教員もあり、効率的・効果的な授業が展開されている。 【課題】 生徒も I C T をうまく活用しながら効率化・効果的な授業を展開したい。	【成果】 新たなソフトウェアを活用して授業を行っている教員もあり、効率的・効果的な授業が展開されている。 【課題】 生徒自身が I C T を活用して学習できるような授業を展開したい。

6 防災対策について

《全日制課程》

	令和 6 年度	令和 7 年度
達成目標	・実効性の高い防災訓練を実施することにより、防災意識を高め、日常の行動変容につなげる。 ・定期的な施設設備点検を行い、危険箇所の周知や改善に努める。	・実効性の高い防災訓練を実施することにより、防災意識を高め、日常の行動変容につなげる。 ・定期的な施設設備点検を行い、危険箇所の周知や改善に努める。
実績・成果	(1) 防災訓練等 ア 防災訓練 1 学期は 4 月にグラウンドへの避難訓練を実施し、その後地区別集合訓練と連絡網の確認を行った。 9 月には、地震発生を想定した、抜き打ちの避難訓練を実施した。 12 月に避難所運営会議の実施と合わせ、マンホールトイレの設置訓練を、生徒・教員・地域住民の合同で実施した。 12 月は、1 年防災講話、2 年初期消火訓練、3 年運搬法について等、学年ごとに異なる内容で実施した。また、生徒に地域防災訓練への参加を促し、不参加生徒には防災に関する課題を課した。 イ 地震災害対応カード 地震災害が発生した際の学校待機希望・津波被害予想などを保護者の同意のもとに記入してもらい状況把握を行う。カードは学校保管のものと、生徒が各自管理するものと 2 通作成する。学校保管のカードはファイルして事務室に保管する。生徒のカードは生徒手帳に記入欄を設けてそこに記入し、常に確認できる態	(1) 防災訓練等 ア 防災訓練 1 学期は 4 月にグラウンドへの避難訓練を実施し、その後地区別集合訓練と連絡網の確認を行った。 9 月には、地震発生を想定した、抜き打ちの避難訓練を実施。 11 月に避難所運営会議の実施と合わせ、マンホールトイレの設置訓練を、生徒・教員・地域住民の合同で実施。 12 月は、1 年防災講話、2 年初期消火訓練、3 年運搬法について等、学年ごとに異なる内容で実施。また、生徒に地域防災訓練への参加を促し、不参加生徒には防災に関する課題を課す。 イ 地震災害対応カード 地震災害が発生した際の学校待機希望・津波被害予想などを保護者の同意のもとに記入してもらい状況把握を行う。カードは学校保管のものと、生徒が各自管理するものと 2 通作成する。学校保管のカードはファイルして事務室に保管する。生徒のカードは生徒手帳に記入欄を設けてそこに記入し、常

	勢をさらに整える。 ウ 防災備品・教室等管理場所の点検 備品点検は2学期に実施。管理場所の点検は各学期末に実施。 (2) 避難所運営連絡会議 12月に開催。	に確認できる態勢をさらに整える。 ウ 防災備品・教室等管理場所の点検 備品点検は2学期に実施予定。管理場所の点検は各学期末に実施。 (2) 避難所運営連絡会議 11月に開催。
評価と課題	【評価】 4月の避難訓練は、仮設校舎からでも大変迅速に避難ができ、生徒が災害を自分事として捉えていることが確認できた。 9月・12月の訓練及び学習でも、生徒は被災時の避難を自分事として捉えていることが取り組みから見て取れた。 【課題】 不審者対応等のマニュアルは用意されているが、まだ、生徒に周知されていないので、早急に進める。 備品点検を定期的に行う。	【評価】 4月の避難訓練は、新校舎での初めてのものだったが大変迅速に避難ができ、生徒が災害を自分事として捉えていることが確認できた。 9月・12月の訓練及び学習でも、実際の被災時を想定したものにして、避難を自分事として捉えられるものにする。 【課題】 不審者対応等の周知及び訓練。 熱中症対策の徹底。

《定時制課程》

	令和6年度	令和7年度
達成目標	・防災意識の向上 ・各種訓練等の実施	・防災意識の向上 ・各種訓練等の実施
実績・成果	(1) 防災意識の向上 全日制と定時制が協力して対応するため、「危機管理マニュアル」として「学校警備及び防災計画書」を作成し、それぞれの業務分担を確認する。 (2) 防災訓練の実施予定 ア 防災訓練 9月18日(水) ・停電を想定した避難訓練の実施 ・防災意欲を高める活動 ・課題確認 イ 救命救急講習 8月29日(木) 12月5日(木) 富士宮消防本部中央消防署に協力を依頼し、心肺蘇生法とAEDの使用法について体験した。 ウ 地域防災訓練 12月1日(日) 生徒の居住地や就業先における自主防災訓練への参加を呼び掛ける。 エ 防災講話 12月9日(月) 東部地域局危機管理課による講話を予定している。	(1) 防災意識の向上 全日制と定時制が協力して対応するため、「危機管理マニュアル」として「学校警備及び防災計画書」を作成し、それぞれの業務分担を確認する。 (2) 防災訓練の実施予定 ア 防災訓練 9月22日(月) ・停電を想定した避難訓練の実施 ・防災意欲を高める活動 ・課題確認 イ 救命救急講習 7月4日(金) 富士宮消防本部中央消防署に協力を依頼し、心肺蘇生法とAEDの使用法について体験した。 ウ 地域防災訓練 12月7日(日) 生徒の居住地や就業先における自主防災訓練への参加を呼び掛ける。 エ 防災講話 11月17日(月) 東部地域局危機管理課による講話を予定している。

評価と課題	【評価】 全日制と共有する「危機管理マニュアル」を元に、全教員で業務分担を確認した。今年度も夕方以降の両課程の生徒が混在する時間を想定した対応を確認する。9月以降、防災訓練や講話、講習を実施し、意識向上を図る。 緊急連絡用にグーグルクラスルームを活用できるようにした。 【課題】 夕方から夜間にかけての時間を想定した、全日制と定時制の防災対応の協働体制を明確にする。地震災害に限らず、大雨、暴風、土砂災害警戒情報、避難指示等発令時の対応を再検討し、生徒保護者及び教職員に周知する必要がある。	【評価】 全日制と共有する「危機管理マニュアル」を元に、全教員で業務分担を確認した。今年度も夕方以降の両課程の生徒が混在する時間を想定した対応を確認する。9月以降、防災訓練や講話、講習を実施し、意識向上を図る。地域防災訓練以前に防災講話を実施し、地域防災訓練への意識を高める。 緊急連絡用に39メール、google class room、学校ホームページの機能を使い分けるようにする。 【課題】 夕方から夜間にかけての時間を想定した、全日制と定時制の防災対応の協働体制を明確にする。地震災害に限らず、大雨、暴風、土砂災害警戒情報、避難指示等発令時の対応を再検討し、生徒保護者及び教職員に周知する必要がある。

7 学校開放について

静岡県立富士宮東高等学校の施設等の開放に関する細則に基づき、一般開放を行っている。

施設名	利用種目	令和6年度			令和7年度(6月30日現在)		
		利用 日数	利用 者数	利用者 負担金	利用 日数	利用 者数	利用者 負担金
第2体育館 (夜間)	バスケット ボール	25日	250人	電気料 10,027円	7日	76人	電気料 2,524円

事務執行の根拠法令調

項 目	根拠法令
1 学校教育 に関するこ と	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条～第3条、第50条～第52条、第60条、第61条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第9条、第11条） 理科教育振興法施行令 産業教育振興法（第15条、第18条） 産業教育振興法施行令
2 学校の管 理・運営に 関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 社会教育法（第43条、第45条、第47条） 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） いじめ防止対策推進法（第8条） 静岡県教育委員会処務規程 静岡県手数料徴収条例 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 高等学校等就学支援金の支給に関する法律（第3条、第4条、第5条） 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 静岡県公立高等学校等高校生等臨時支援金事務処理要綱 高等学校等就学支援事業費補助金（奨学のための給付金）交付要綱 静岡県高等学校等奨学給付金事務処理要綱 高等学校等就学支援事業費補助金（学び直しへの支援）交付要綱 静岡県公立高等学校等学び直し支援金事務処理要綱 静岡県情報公開条例施行規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 静岡県高等学校定時制課程及び通信制課程修学資金貸与規則 高等学校定時制の課程及び通信制の課程修学補助金交付要綱 夜間課程を置く高等学校における学校給食に関する法律（第3条）

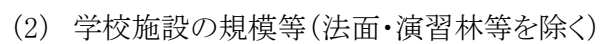
学校施設の概要

1 面積及び所有区分

(令和7年6月30日現在)

区 分		面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
			県 有 m ²	国 有 m ²	市町 村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地		33,774.80	33,774.80					
内 訳	校 舎 敷 地	14,565.00	14,565.00					
	運 動 場 敷 地	19,209.80	19,209.80					
	その他の敷地							
校 舎		建 2,917.77	2,917.77					
		延 8,817.45	8,817.45					
体 育 館		建 1,852.26	1,852.26					
		延 2,051.37	2,051.37					
そ の 他 の 建 物		建 1,692.35	1,029.71			662.64		後援会有は自転車置 場、ダッグアウト、 ピッチング練習場、 美術部室、弓道場、 倉庫
		延 1,772.54	1,109.90			662.64		
生 活 館		建 526.75	526.75					
		延 526.75	526.75					
プ ー ル		400.00	400.00					7 コース 25m×16m
職 員 住 宅		戸 8	戸 8					

(1) 校舎等の配置図



区 分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当 校	33,774.80㎡	8,817.45㎡	19,209.80㎡
県平均	45,574.48㎡	9,782.41㎡	22,506.84㎡

在 籍 生 徒 調

【全日制】

(令和7年6月30日現在)

学年	学科別		普通科				福祉科				合計			
	区分		定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	合計
1年	入学者		120	56	70	126	40	8	31	39	160	64	101	165
		増加		0	0	0		0	0	0		0	0	0
		減少		0	0	0		0	0	0		0		
	現 在			56	70	126		8	31	39		64	101	165
2年	入学者		120	47	73	120	40	6	29	35	160	53	102	155
		増加		0	0	0		0	0	0		0	0	0
		減少		1	3	4		0	1	1		1	4	5
	2年時当初			46	70	116		6	28	34		52	98	150
		増加			0	0		0	0	0		0	0	0
		減少		0	0	0		0	0	0		0	0	0
	現 在			46	70	116		6	28	34		52	98	150
3年	入学者		160	72	67	139	40	3	27	30	200	75	94	169
		増加		0	0	0		0	0	0		0	0	0
		減少		5	0	5		0	1	1		5	1	6
	2年時当初			67	67	134		3	26	29		70	93	163
		増加		1	0	1		0	0	0		1	0	1
		減少		2	1	3		0	1	1		2	2	4
	3年時当初			66	66	132		3	25	28		69	91	160
		増加		0	0	0		0	0	0		0	0	0
		減少			0	0		0	0	0		0	0	0
	現 在			66	66	132		3	25	28		69	91	160
合計				168	206	374		17	84	101		185	290	475

在 籍 生 徒 調

【定時制】

(令和7年6月30日現在)

学年	学科別		普通科			
	区分		定員	男子	女子	計
1年	入学者		40	12	8	20
		増加		0	0	0
		減少		0	0	0
	現 在			12	8	20
2年	入学者		40	13	10	23
		増加		0	(2)	(2)
		減少		0	(2)	(2)
	2年時当初			13	10	23
		増加		0	0	0
		減少		0	0	0
	現 在			13	10	23
3年	入学者		40	7	7	14
		増加		1	0	1
		減少		4	(2)	4 (2)
	2年時当初			4	5	9
		増加		1	1	2
		減少		1	2	3
	3年時当初			4	4	8
		増加		0	0	0
		減少		0	0	0
現 在			4	4	8	
4年	入学者		40	9	7	16
		増加		0	0	0
		減少		5	1	6
	2年時当初			4	6	10
		増加		0	1	1
		減少		0	3	3
	3年時当初			4	4	8
		増加		0	0	0
		減少		1	0	1
	3 修 卒			0	0	0
	4年時当初			3	4	7
		増加		0	0	0
		減少		0	0	0
	現 在			3	4	7
合 計				32	26	58

入学志願者及び入学者数調

【全日制】

区 分		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
学 科 別		普通科	福祉科	普通科	福祉科	普通科	福祉科	普通科	福祉科	普通科	福祉科
生徒定員(A)		160	40	160	40	160	40	120	40	120	40
募集者数(B)		160	40	160	40	160	40	120	40	120	40
志願者数	男	57 (2)	2 (0)	69 (0)	5 (0)	69 (3)	3 (0)	47 (0)	6 (2)	62 (0)	9 (0)
	女	83 (0)	20 (1)	84 (1)	23 (0)	65 (2)	27 (0)	73 (0)	28 (1)	78 (0)	31 (0)
	計(C)	140 (2)	22 (1)	153 (1)	28 (0)	134 (5)	30 (0)	120 (0)	34 (3)	140 (0)	40 (0)
受検者数	男	57 (2)	2 (0)	69 (0)	5 (0)	69 (3)	3 (0)	47 (0)	6 (2)	62 (0)	9 (0)
	女	83 (0)	20 (1)	84 (1)	23 (0)	65 (2)	27 (0)	73 (0)	28 (1)	77 (0)	31 (0)
	計(D)	140 (2)	22 (1)	153 (1)	28 (0)	134 (5)	30 (0)	120 (0)	34 (3)	139 (0)	40 (0)
合格者数	男	57 (2)	2 (0)	67 (0)	5 (0)	69 (3)	3 (0)	47 (0)	5 (1)	56 (0)	9 (0)
	女	83 (0)	18 (1)	82 (1)	23 (0)	65 (2)	27 (0)	73 (0)	28 (1)	70 (0)	31 (0)
	計(E)	140 (2)	20 (1)	149 (1)	28 (0)	134 (5)	30 (0)	120 (0)	33 (2)	126 (0)	40 (0)
志願倍率(C)/(B)		0.88	0.55	0.96	0.70	0.84	0.75	1.00	0.85	1.17	1.00
受検倍率(D)/(B)		0.88	0.55	0.96	0.70	0.84	0.75	1.00	0.85	1.16	1.00
入学者数	男	59	2	66	5	72	3	47	6	56	8
	女	83	19	82	23	67	27	73	29	70	31
	計(F)	142	21	148	28	139	30	120	35	126	39
充足率(F)/(A)		0.89	0.53	0.93	0.70	0.87	0.75	1.00	0.88	1.05	0.98

入学志願者及び入学者数調

【定時制】

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
学 科 別		普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
生徒定員 (A)		40	40	40	40	40
募集者数 (B)		40	40	40	40	40
志願者数	男	11 (1)	11 (1)	10 (1)	11 (3)	10 (4)
	女	6 (0)	8 (0)	6 (1)	9 (1)	8 (0)
	計 (C)	17 (1)	19 (1)	16 (2)	20 (4)	18 (4)
受検者数	男	11 (1)	11 (1)	10 (1)	11 (3)	10 (4)
	女	6 (0)	8 (0)	6 (1)	9 (1)	8 (0)
	計 (D)	17 (1)	19 (1)	16 (2)	20 (4)	18 (4)
合格者数	男	11 (1)	8 (1)	7 (0)	11 (2)	9 (3)
	女	6 (0)	8 (0)	6 (1)	9 (1)	8 (0)
	計 (E)	17 (1)	16 (1)	13 (1)	20 (3)	17 (3)
志願倍率 (C) / (B)		0.43	0.48	0.40	0.50	0.45
受検倍率 (D) / (B)		0.43	0.48	0.40	0.50	0.45
入学者数	男	12	9	7	13	12
	女	6	7	7	10	8
	計 (F)	18	16	14	23	20
充足率 (F) / (A)		0.45	0.40	0.35	0.58	0.50

卒業生の動向調

【全日制】

1 進路状況

学 科 別		普通科			福祉科			計		
年 度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
卒業生徒数		130	125	137	19	21	27	149	146	164
内 訳	(進学志願者)	(110)	(97)	(102)	(13)	(12)	(19)	(123)	(109)	(121)
	進学 大学・短大	47	53	57	4	10	7	51	63	64
	専修・各種学校等	63	44	42	9	2	12	72	46	54
	小 計	110	97	99	13	12	19	123	109	118
	就職者	20	24	31	6	7	8	26	31	39
	自営者	0	1	0	0	2	0	0	3	0
	進学準備者	0	0	3	0	0	0	0	0	3
	その他	0	3	4	0	0	0	0	3	4
合 計		130	125	137	19	21	27	149	146	164

2 求人状況（全日制のみ）

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
就職希望者数	26	31	37
求 人 数	980	4,211	4,500
求人倍率	37.7	135.8	121.6

3 資格取得状況

(令和6年度)

学 科 別		普通科	福祉科	計
卒業生徒数		137	27	
資 格 の 取 得 状 況	介護福祉士	0	27	27
	文部省認定実用英語技能検定2級	2	0	2
	文部省認定実用英語技能検定準2級	4	2	6
	日本漢字能力検定2級	1	0	1
	日本漢字能力検定準2級	2	0	2
合 計		9	29	38

卒業生の動向調

【定時制】

1 進路状況

学 科 別		普通科		
年 度		令和4年度	令和5年度	令和6年度
卒業生徒数		16	9	11
内 訳	(進学志願者)	(0)	(1)	(0)
	進学者			
	大学・短大	0	0	0
	専修・各種学校等	0	1	0
	小 計	0	1	0
	就職者	13	6	10
	自営者	0	0	0
	進学準備者	1	0	0
	その他	2	2	1
合 計		16	9	11

2 求人状況（全日制のみ）

3 資格取得状況

（令和6年度）

学 科 別		普通科
卒業生徒数		11
資格の 取得 状況	情報処理技能検定準1級	3
合 計		3

生徒の状況

【全日制】

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年6月30日現在) (単位：人)

市町名	富士宮市	富士市	県内他市	他県	合計
生徒数	258	207	7	3	475
構成比%	54.3%	43.6%	1.5%	0.6%	100%

(2) 通学方法 (令和7年6月30日現在) (単位：人)

区分	自転車	電車	バス	徒歩	その他	合計
生徒数	291	69	19	44	52	475
構成比%	61.3%	14.5%	4.0%	9.3%	10.9%	100%

2 部（クラブ）の加入状況

(令和7年6月30日現在) (単位：人)

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		12	7		19
男子	1年	51	13	0	64
	2年	38	9	5	52
	3年	43	15	11	69
	計 (A)	132	37	16	185
	構成比	71.4%	20.0%	8.6%	100%
女子	1年	44	57	0	101
	2年	36	56	6	98
	3年	23	56	12	91
	計 (B)	103	169	18	290
	構成比	35.5%	58.3%	6.2%	100%
合計	(A+B)	235	206	34	475
	構成比	49.5%	43.4%	7.1%	100%

生徒の状況

【定時制】

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年6月30日現在) (単位: 人)

市町名	富士宮市	富士市	県内他市	他県	合計
生徒数	57	1	0	0	58
構成比%	98.3%	1.7%	0.0%	0.0%	100%

(2) 通学方法 (令和7年6月30日現在) (単位: 人)

区分	自転車	電車	バス	徒歩	自動車	二輪車	その他	合計
生徒数	21	0	0	37	0	0	0	58
構成比%	36.2%	0.0%	0.0%	63.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100%

(3) 生徒の年齢 (令和7年6月30日現在) (単位: 人)

区分	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳超	計
1年	17	1	2						20
2年		22	1						23
3年			7	1					8
4年				7					7
計	17	23	10	8	0	0	0	0	58

(4) 生徒の就業状況 (令和7年6月30日現在) (単位: 人)

区分	建設	製造	卸小売	サービス業	各種学校	その他	無職	計
1年	1	4	3	6			6	20
2年	1	2	5	9			6	23
3年			5	1			2	8
4年		1	1	3			2	7
計	2	7	14	19	0	0	16	58

2 部(クラブ)の加入状況

(令和7年6月30日現在) (単位: 人)

区分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		3	1		4
男子	1年	6	0	6	12
	2年	2	0	11	13
	3年	4	0	0	4
	4年	3	0	0	3
	計(A)	15	0	17	32
	構成比	46.9%	0%	53.1%	100%
女子	1年	1	0	7	8
	2年	1	3	6	10
	3年	1	0	3	4
	4年	0	1	3	4
	計(B)	3	4	19	26
	構成比	11.5%	15.4%	73.1%	100%
合計	(A+B)	18	4	36	58
	構成比	31.0%	6.9%	62.1%	100%

【全日制】

授 業 料 収 納 状 況 調

(令和6年度)

期 月 別	調定の状況								収納の状況				異動者等の状況	
	1 年		2 年		3 年		計		納期内収納額		納期後 収納額	収入 未済額		
	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額		収納率				
一 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	A. 期首収納権利発生額＝1,455,300円 (49人×@9,900円×3月)
	5													B. 収納権利増減 (▲) 額＝9,900円 5月31日：3年 転学▲1 1人×@9,900円×1月＝▲9,900円
	6													
	7	23	683,100	16	475,200	9	267,300	48	1,425,600	1,366,200	95.8	0	59,400	C. 収納必要額A (±) B＝1,445,400円
	8												59,400	0
	計	23	683,100	16	475,200	10	287,100	49	1,445,400	1,386,000	95.8	59,400	0	
二 期	7													A. 期首収納権利発生額＝2,623,500円 (53人×@9,900円×5月)
	8													B. 収納権利増減 (▲) 額＝29,700円 8月31日：1年 転学▲1 1人×@9,900円×3月＝▲29,700円
	9	1	19,800					1	19,800	19,800	100.0		0	C. 収納必要額A (±) B＝2,593,800円
	10	25	1,237,500	15	742,500	12	594,000	52	2,574,000	2,376,000	92.3	0	198,000	
	11											198,000	0	
	12													
	1													
	2													
	計	26	1,257,300	15	742,500	12	594,000	53	2,593,800	2,395,800	92.3	198,000	0	
三 期	12													A. 期首収納権利発生額＝1,980,000円 (50人×@9,900円×4月)
	1	24	950,400	14	554,400	11	435,600	49	1,940,400	1,900,800	98.0	0	39,600	B. 収納権利増減 (▲) 額＝39,600円 就学支援金遡及認定 ▲1 1人×@9,900円×4月＝▲39,600円
	2	▲1	▲39,600					▲1	▲39,600			39,600	0	
	3												0	C. 収納必要額A (±) B＝1,940,400円
	計	24	950,400	14	554,400	11	435,600	49	1,940,400	1,900,800	98.0	39,600	0	
合計	73	2,890,800	45	1,772,100	33	1,316,700	151	5,979,600	5,682,600	95.0	297,000	0	D. 収納必要額＝5,979,600円	

【定時制】

授 業 料 収 納 状 況 調

(令和6年度)

期 月 別	調定の状況										収納の状況				異動者等の状況	
	1 年		2 年		3 年		4 年		計		納期内収納額		納期後 収納額	収入 未済額		
	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額		収納率				
一 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	A. 期首収納権利発生額＝32,400円 （4人×@2,700円×3月） B. 収納権利増減（▲）額＝0円 C. 収納必要額A（±）B＝32,400円
	5															
	6															
	7	1	8,100	1	8,100	1	8,100	1	8,100	4	32,400	24,300	75.0		8,100	
	8													8,100	0	
	計	1	8,100	1	8,100	1	8,100	1	8,100	4	32,400	24,300	75.0	8,100	0	
	二 期	7														
8																
9																
10		2	27,000			1	13,500			3	40,500	40,500	100.0		0	
11																
計		2	27,000	0	0	1	13,500	0	0	3	40,500	40,500	100.0	0	0	
三 期		12														
	1	1	10,800		0	1	10,800	0	0	2	21,600	10,800	50.0		10,800	
	2													10,800	0	
	3															
	計	1	10,800	0	0	1	10,800	0	0	2	21,600	10,800	50.0	10,800	0	
	合計	4	45,900	1	8,100	3	32,400	1	8,100	9	94,500	75,600	80.0	18,900	0	D. 収納必要額＝ 94,500円

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和 6 年度	令和 7 年度 (令和 7 年 6 月 30 日現在)
	件 数	件 数
全日制高等学校入学検定料	183	0
定時制高等学校入学検定料	22	0

過年度分収入未済額調

(令和7年6月30日現在)

区分 年度	学校給食業務委託契約							
	件数	収入未済額	件数	収入未済額	件数	収入未済額	件数	収入未済額
令和元年度以前 (A)		円		円		円		円
令和2年度								
令和3年度								
令和4年度								
令和5年度	1	1,616,173						
令和6年度								
計	1	1,616,173						
摘要① (滞納処分の停止 等の理由)								
摘要② (不納欠損処分の 件数、額)								
摘要③ (A欄のうち、1件 10万円以上の内訳)								

預 金 調

(令和 7 年 6 月 30 日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 (円)	摘 要
静 岡 銀 行 富士宮東支店	無利息型 普通預金	0432982	(自振口) 富士宮東高等学校 資金前渡者 鈴木 香	0	水道料 社会保険料 後納郵便代金 電話料支払
静 岡 銀 行 富士宮東支店	無利息型 普通預金	0284011	富士宮東高等学校 資金前渡者 鈴木 香	0	職員給与支給等
残 高 合 計				0	

郵 券 等 受 払 調

(令和7年6月30日現在)

(単位:枚、円)

区分	種類	令和6年度						令和7年度								摘 要
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出		差引現在高		
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	
郵便	63円はがき	3	189	0	0	3	189	0	0	0	0	0	0	0	0	通信用
計			189		0		189		0		0		0		0	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節 名	会 計	款	項	目	執 行 済 額 (円)		
					令和5年度	令和6年度	左のうち、令和5年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		13,457,598	
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		6,557,102	
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		775,500	
	一般会計	教育費	学校教育費	高校教育費		1,636,307	
	一般会計	教育費	学校教育費	健康体育費		6,080,966	
計					22,318,634	28,507,473	0
(14) 工事請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		0	
計					3,828,000	0	0
(16) 公有財産購入費						0	
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		3,862,000	
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		1,227,600	
計					782,100	5,089,600	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		53,188,466	
	一般会計	教育費	学校教育費	健康体育費		60,334	
計					53,510,464	53,248,800	0
(21) 補償、補填及び賠償金						0	
計					0	0	0

様式第10号－3

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年6月30日現在)

節 名	会 計	款	項	目	執 行 済 額 (円)	
					うち、令和6年度からの繰越額分	
(12) 委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	190,190	0
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	286,000	0
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	0	0
	一般会計	教育費	学校教育費	健康体育費	990,654	0
計					1,466,844	0
(14) 工事請負費					0	0
計					0	0
(16) 公有財産購入費					0	0
計					0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	173,800	0
計					173,800	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	20,000	0
計					20,000	0
(21) 補償、補填及び賠償金					0	0
計					0	0

委 託 料 に 関 す る 調

(令和6年度)

整理 番号	委 託 業 務 名	受 託 者	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	契約期間	支出年月日	金 額	委託業務の内容	摘 要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 給食調理(配膳)業務	㈱クリエイティブ	円 15,830,190	円 15,830,190	円 19,590	円 15,849,780	一般	5.12. 4 ～ 8. 7.31	6. 5.31 6. 6.28 6. 7.30 6. 8.30 6. 9.30 6.10.30 6.11.29 6.12.26 7. 1.31 7. 2.27 7. 3.28 7. 4.25 小計	円 (1,988,238) 494,693 494,693 494,693 494,693 494,693 494,693 494,693 494,693 494,693 494,693 494,693 494,693 494,693 5,936,316	定時制給食調理・配膳業務	R 5 長期
2	消防用設備等保守点検業務	サンコー防災㈱	13,794,000	13,376,000	4,400	13,380,400	一般	6. 4. 1 ～ 7. 3.31	6.10.31 7. 4.15 小計	11,335,060 2,045,340 13,380,400	自動火災報知設備等保守点検、防火設備定期検査業務、防火対象物点検	吉原、吉原工業、富士、富士東(富士特支富士東分校を含む)富士宮北、富士宮西、富士岳館、富士特支、富士特支富士宮分校
3	専用水道維持管理業務	㈱環境計量センター	827,200	558,800	0	558,800	随契	6. 4. 1 ～ 7. 3.31	6. 5.31 6. 6.28 6. 7.31 6. 8.30 6. 9.30 6.10.31 6.11.29 6.12.26 7. 1.31 7. 2.27 7. 3.28 7. 4.18 小計	37,400 64,900 37,400 37,400 64,900 37,400 37,400 64,900 37,400 37,400 64,900 37,400 37,400 558,800	専用水道維持管理業務	随契 1 号 (少額)
4	水質検査業務	㈱環境計量センター	634,260	473,000	0	473,000	随契	6. 4.10 ～ 7. 3.31	6. 5.31 6. 6.28 6. 7.31 6. 8.30 6. 9.30 6.10.31 6.11.29 6.12.26 7. 1.31 7. 2.27 7. 3.28 7. 4.18 小計	4,400 124,300 23,100 8,800 61,600 8,800 114,400 57,200 4,400 4,400 57,200 4,400 473,000	水質検査業務	随契 1 号 (少額)
5	防鼠防虫業務	㈱アルバイン・エンタープライズ	59,400	59,400	0	59,400	随契	6. 4. 8 ～ 7. 3.31	6.11. 8 7. 4.28 小計	29,700 29,700 59,400	定時制防鼠防虫業務	随契 1 号 (少額)
6	校舎等管理業務	ロフティ㈱	5,368	5,368	0	5,368	随契	6. 4. 8 ～ 7. 3.31	6. 5.30 6. 6.28 6. 7.30 6. 8.30 6. 9.30 6.10.31 6.11.29 6.12.26 7. 1.31 7. 2.27 7. 3.28 7. 4.28 小計	85,888 107,360 107,360 85,888 5,368 101,992 112,728 107,360 80,520 96,624 96,624 5,368 993,080	定時制校舎等管理業務	随契 1 号 (少額) 単価契約
7	産業廃棄物収集運搬処分業務	㈱クリーンコントロールサービス	90,200	90,200	0	90,200	随契	6. 5.16 ～ 6. 7.31	6. 7.19	90,200	不燃物収集・運搬及び処理	随契 1 号 (少額)
8	グローバルハイスクール台湾研修旅行業務	㈱日本旅行静岡支店	1,709,000	1,709,000	-72,693	1,636,307	随契	6. 9.25 ～ 7. 1.17	7. 2. 3	1,636,307	台湾研修旅行の企画・立案及び手配業務	随契 2 号 (不運)
9	厨房・調理室グリストラップ清掃及び産廃収集・運搬業務	三友水処理㈱	75,900	72,600	0	72,600	随契	6. 9.30 ～ 7. 3.27	6.11.29 7. 3.28 小計	23,100 49,500 72,600	学校給食用厨房及び調理室のグリストラップの清掃及び産廃収集運搬業務	随契 1 号 (少額)
10	厨房・調理室グリストラップ汚泥処分業務	クリーンサービス㈱	13,750	13,750	0	13,750	随契	6. 9.30 ～ 7. 3.27	6.12. 6 7. 3.28 小計	4,125 9,625 13,750	学校給食用厨房及び調理室のグリストラップの汚泥処分業務	随契 1 号 (少額)
11	産業廃棄物収集運搬処分業務	㈱クリーンコントロールサービス	58,300	58,300	0	58,300	随契	6.11.13 ～ 6.12.27	6.12.26	58,300	不燃物収集・運搬及び処理	随契 1 号 (少額)
12	産業廃棄物処分業務	三光㈱	33,070	33,070	0	33,070	随契	6.12. 3 ～ 7. 3.28	7. 3.12	33,070	廃液・廃薬品処分業務	随契 1 号 (少額)
13	産業廃棄物収集運搬業務	日本産業廃棄物処理㈱	41,800	41,800	0	41,800	随契	6.12. 3 ～ 7. 2.14	7. 2.13	41,800	廃液・廃薬品収集・運搬業務	随契 1 号 (少額)
14	物品移設業務	佐川急便㈱東海支店	4,820,000	3,911,600	0	3,911,600	一般	6.12. 3 ～ 7. 3.31	7. 4.28	3,911,600	新校舎への物品移設業務	
15	産業廃棄物収集運搬処分業務	㈱クリーンコントロールサービス	99,220	99,220	0	99,220	随契	6.12.16 ～ 7. 1.31	7. 2.10	99,220	引越しに伴い発生する不燃物の収集・運搬及び処理	随契 1 号 (少額)
16	産業廃棄物収集運搬処分業務	㈱クリーンコントロールサービス	90,200	90,200	0	90,200	随契	7. 1.21 ～ 7. 3.28	7. 4.28	90,200	不燃物収集・運搬及び処理	随契 1 号 (少額)
17	産業廃棄物収集運搬業務	日本産業廃棄物処理㈱	41,800	41,800	0	41,800	随契	7. 1.16 ～ 7. 2.26	7. 3.12	41,800	廃液・廃薬品収集・運搬業務	随契 1 号 (少額)
18	産業廃棄物処分業務	三光㈱	37,772	37,772	0	37,772	随契	7. 1.16 ～ 7. 3.28	7. 4.17	37,772	廃液・廃薬品処分業務	随契 1 号 (少額)
19	産業廃棄物収集運搬処分業務	㈱クリーンコントロールサービス	90,200	90,200	0	90,200	随契	6.12.25 ～ 7. 2.28	7. 2.28	90,200	引越しに伴い発生する不燃物の収集・運搬及び処理	随契 1 号 (少額)
20	引越しに伴う産業廃棄物収集運搬処分業務	㈱ヤマモト	637,450	451,000	0	451,000	随契	7. 2.20 ～ 7. 3.31	7. 4.25	451,000	引越しに伴い発生する産業廃棄物の収集・運搬及び処理	随契 1 号 (少額)
21	産業廃棄物収集運搬処分業務	㈱ホクセイ	18,040	16,896	0	16,896	随契	7. 2.26 ～ 7. 3.31	7. 4.10	16,896	蛍光管収集・運搬及び処理	随契 1 号 (少額)
22	LANケーブル配線作業業務	東洋技研㈱	65,362	65,362	0	65,362	随契	7. 3.12 ～ 7. 3.28	7. 4.18	65,362	LANケーブル配線作業業務	随契 1 号 (少額)
23	産業廃棄物収集運搬処分業務	㈱クリーンコントロールサービス	90,200	90,200	0	90,200	随契	7. 3.13 ～ 7. 3.31	7. 4.28	90,200	引越しに伴い発生する不燃物の収集・運搬及び処理	随契 1 号 (少額)
24	産業廃棄物収集運搬処分業務	㈱クリーンコントロールサービス	90,200	90,200	0	90,200	随契	7. 3.18 ～ 7. 3.31	7. 4.28	90,200	引越しに伴い発生する不燃物の収集・運搬及び処理	随契 1 号 (少額)
25	産業廃棄物収集運搬処分業務	㈱クリーンコントロールサービス	51,700	51,700	0	51,700	随契	7. 3.21 ～ 7. 3.31	7. 4.28	51,700	引越しに伴い発生する不燃物の収集・運搬及び処理	随契 1 号 (少額)

委 託 料 に 関 す る 調

(令和6年度)

整理 番号	委 託 業 務 名	受 託 者	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	契約期間	支出年月日	金 額	委託業務の内容	摘 要
				当初額	変更増減額	計						
	事務関係 計	25 件								28,383,173		
	(工事関係)											
1	有害物質含有調査業務	東海プラント分析センター㈱	159,500	124,300	0	124,300	随契	6.10.15 ～ 6.11.15	6.12.17	124,300	有害物質含有調査業務	随契1号 (少額)
	工事関係 計	1 件								124,300		
	合 計	26 件								28,507,473		
参考 1	警備業務委託	セコム㈱		5,808,000	391,710	6,199,710		1.10.1 ～ 6.9.30			警報機器等による学校の警備業務	R1 長期 富士高校
参考 2	警備業務委託	セコム㈱		17,424,000	0	17,424,000		6.10.1 ～ 11.9.30			警報機器等による学校の警備業務	R6 長期 富士高校
参考 3	自家用電気工作物保安管理業務	加藤電気管理事務所		1,482,800	156,200	1,639,000		6.4.1 ～ 7.3.31			自家用電気工作物の維持及び運用に関する保守点検業務	富岳館高校
参考 4	可燃物収集運搬処分業務	㈱静岡総合処理センター		収集・運搬料 4,400円/回 処分料 15円/kg	0	収集・運搬料 4,400円/回 処分料 15円/kg		6.4.8 ～ 7.3.31			可燃物の収集運搬処理業務	富士宮西高校
参考 5	プール浄化装置保守点検業務	㈱石川メンテナンス		207,900	0	207,900		6.4.12 ～ 6.10.31			プール浄化装置設備の保守点検業務	富士東高校
参考 6	ガスヒートポンプ点検業務	㈱ユアーズ静岡		1,279,300	0	1,279,300		6.6.3 ～ 6.8.26			ガスヒートポンプ点検業務	富士宮北高校
参考 7	定期点検業務	㈱平柳建築設計事務所		3,263,700	0	3,263,700		6.8.15 ～ 7.2.28			建築基準法第12条に基づく定期点検業務	富士東高校
	計	7 件										

委 託 料 に 関 す る 調

(令和7年度)
(令和7年6月30日現在)

整理 番号	委 託 業 務 名	受 託 者	当 初 設計金額 円	契 約 金 額			契約 締結 方法	契約期間	支出年月日	金 額 円	委託業務の内容	摘 要
				当初額 円	変更増減額 円	計 円						
	(事務関係)											
1	給食調理(配膳)業務	㈱クリエィティブ	15,830,190	15,830,190	19,590	15,849,780	一般	5.12.4 ～ 8.7.31	7.5.29 7.6.27 小計	(7,924,554) 495,327 495,327 990,654	定時制給食調理・配膳業務	R 5 長期
2	消防用設備等保守点検業務	サンコー防災㈱	13,653,200	13,246,200	0	13,246,200	一般	7.4.1 ～ 8.3.31		0	自動火災報知設備等保守点検、防火設備定期検査業務、防火対象物点検	吉原、吉原工業、富士、富士東(富士特支富士東分校を含む)富士宮北、富士宮西、富士館、富士特支、富士特支富士宮分校
3	専用水道維持管理業務	㈱環境計量センター	1,461,460	1,199,000	0	1,199,000	一般	7.4.1 ～ 8.3.31	7.5.30 7.6.30 小計	44,000 225,500 269,500	専用水道維持管理業務	
4	防鼠防虫業務	㈱アルパイン・エンタープライズ	59,400	59,400	0	59,400	随契	7.4.8 ～ 8.3.31		0	防鼠防虫業務	随契1号(少額)
5	校舎等管理業務	ロフティ㈱	5,434	5,434	0	5,434	随契	7.4.8 ～ 8.3.31	7.5.29 7.6.27 小計	86,944 103,246 190,190	定時制校舎等管理業務	随契1号(少額) 単備契約
6	階段昇降車操作講習会業務	アビリティーズ・ケアネット㈱	16,500	16,500	0	16,500	随契	7.4.9 ～ 7.4.30	7.5.16	16,500	階段昇降車操作講習会業務	随契1号(少額)
7	産業廃棄物収集・運搬及び処分業務	㈱クリーンコントロールサービス	92,400	92,400	0	92,400	随契	7.5.14 ～ 7.7.31		0	不燃物収集・運搬及び処理	随契1号(少額)
8	エレベーター保守点検業務	東芝エレベーター㈱静岡支店	583,000	583,000	0	583,000	随契	7.6.1 ～ 8.3.31		0	エレベーター保守点検業務	随契1号(少額)
	事務関係 計	8 件								1,466,844		
	合 計	8 件								1,466,844		
参考 1	警備業務委託	セコム㈱		17,424,000	0	17,424,000		6.10.1 ～ 11.9.30			警報機器等による学校の警備業務	R 6 長期 富士高校
参考 2	自家用電気工作物保安管理業務	加藤電気管理事務所		1,916,200	0	1,916,200		7.4.1 ～ 8.3.31			自家用電気工作物の維持及び運用に関する保守点検業務	富士館高校
参考 3	可燃物収集運搬処分業務	㈱東亜美装		収集・運搬料 4,345円/回 処分料 15円/kg	0	収集・運搬料 4,345円/回 処分料 15円/kg		7.4.8 ～ 8.3.31			可燃物の収集運搬処理業務	富士宮西高校
参考 4	プール浄化装置保守点検業務	南石川メンテナンス		227,700	0	227,700		7.4.15 ～ 7.10.31			プール浄化装置設備の保守点検業務	富士東高校
	計	4 件										

補 助 金 支 出 調

(令和6年度)

整理 番号	対象事業名	交付先	補助の 根拠	事業の実績	総事業費	補助金額	補助率	交付決定		交 付		事業完了		摘要
								年月日	金 額	年月日	金 額	年月日	確認年月日	
1	高等学校定時制の課程 及び通信制の課程修学 補助金	富士宮東高校生徒の教科書購入者・夜食喫食者4名	高等学校定時制の課程 及び通信制の課程修学 補助金交付要綱	高等学校定時制課程及び通信制課程教科書等購入費・夜食費	円 88,820	円 88,820	県 10/10		円		円			
								R7. 1. 7	18,582	R7. 1. 24	18,582	R6. 11. 29	R7. 1. 6	
								R7. 1. 7	19,248	R7. 1. 24	19,248	R6. 12. 25	R7. 1. 6	
								R7. 3. 7	16,694	R7. 3. 21	16,694	R6. 12. 2	R7. 2. 10	
								R7. 3. 28	6,984	R7. 4. 11	6,984	R7. 3. 19	R7. 3. 19	
								R7. 3. 28	1,746	R7. 4. 11	1,746	R7. 2. 3	R7. 3. 19	
	計	1 件			88,820	88,820			88,820		88,820			

負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国福祉高等学校長会年会費	全国福祉高等学校長会	全国福祉高等学校長会規約による	高等学校福祉教育の相互連携を深め教育推進を図る	円 10,000	R6.4.22
2	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催要項による	全国高等学校長協会総会・研究協議会	4,000	R6.5.1
3	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	開催要項による	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	2,000	R6.7.4
4	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分 438人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	13,008,600	振替日 R6.7.31
5	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第1期分 51人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	413,100	振替日 R6.7.31
6	静岡県高等学校長協会家庭部会学校負担金	静岡県高等学校長協会家庭部会	静岡県高等学校長協会家庭部会規約による	県内高等学校及び特別支援学校家庭科教育の振興を図る	2,000	R6.9.20
7	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分 1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	9,900	振替日 R6.9.30
8	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第2期分 50人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	675,000	振替日 R6.10.31
9	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第2期分 2人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	5,400	振替日 R6.10.31
10	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分 429人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	21,235,500	振替日 R6.10.31
11	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分 3人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	108,900	振替日 R6.10.31
12	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分 2人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	99,000	R6.12.20
13	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第2期分 1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	13,500	R6.12.26
14	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分 1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	9,900	R6.12.26
15	駿台教育探究セミナー冬季講習講座受講料	駿台教育センター株式会社	開催要項による	冬季駿台教育探究セミナー	23,980	R6.12.26
16	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分 428人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	16,968,600	振替日 R7.1.31
17	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第3期分 51人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	550,800	振替日 R7.1.31
18	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分 1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	▲ 19,800	振替日 R7.2.12
19	高等学校等就学支援金	全日制・定時制高等学校授業料(第3期分 1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	39,600	振替日 R7.2.12
計		19 件			53,159,980	

負担金支出調

(令和 7 年度)

(令和 7 年 6 月 30 日現在)

整理 番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支 出 年 月 日
1	全国定時制通信制高等学校 長会総会・研究協議会参加 費	全国定時制通信制高等学 校長会	開催要項による	全国定時制通信制高等学 校長会総会・研究協議会	円 1,000	R7. 4. 24
2	全国福祉高等学校長会年会 費	全国福祉高等学校長会	全国福祉高等学校長会規 約による	高等学校福祉教育の相互連 携を深め教育推進を図る	10,000	R7. 4. 25
3	全国高等学校長協会総会・ 研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催要項による	全国高等学校長協会総会・ 研究協議会	4,000	R7. 4. 30
4	全国高校定通教頭副校長協 会教育研究協議会参加費	全国高等学校定時制通信 制教頭・副校長協会	開催要項による	全国高等学校定時制通信制 教頭・副校長協会教育研究 協議会	5,000	R7. 6. 30
計		4 件			20,000	

建 築 工 事 調

(令和 6 年度)

整理 番号	予算 科目	工事名	工事箇所	当初設計金額	契約金額			契約締 結方法	受注者	着 手 完成(予定) 年月日	支出済額	工事概要	公有財 産台帳	摘 要
					当初額	変更増減額	計							
(参考)				円	円	円	円				円			
1	教育 管理 費	令和 5 年度 [第 3 5 -Z 1 5 0 1-0 1 号] 富士宮東高等学 校管理・普通教室棟 新築工事 (建築)	富士宮市小泉地 内	1, 265, 132, 000	1, 265, 000, 000	0	1, 265, 000, 000	一般	株式会社石井組	R5. 10. 13 ～ R7. 2. 14	1, 265, 000, 000	新校舎新築に伴う建築工事	予	本庁経理分 交通基盤部 建築工事課 令和 5 年度債務
2	教育 管理 費	令和 5 年度 [第 3 5 -Z 2 4 0 8-0 1 号] 富士宮東高等学 校管理・普通教室棟 新築工事 (電気設 備)	富士宮市小泉地 内	226, 754, 000	211, 420, 000	6, 391, 000	217, 811, 000	一般	富士電設株式会社	R5. 10. 26 ～ R7. 2. 14	217, 811, 000	新校舎新築に伴う電気設備工事	予	本庁経理分 交通基盤部 設備課 令和 5 年度債務
3	教育 管理 費	令和 5 年度 [第 3 5 -Z 2 4 0 8-0 1 号] 富士宮東高等学 校管理・普通教室棟 新築工事 (機械設 備)	富士宮市小泉地 内	147, 730, 000	127, 600, 000	3, 322, 000	130, 922, 000	一般	株式会社小野田総合 設備	R5. 10. 25 ～ R7. 2. 14	130, 922, 000	新校舎新築に伴う機械設備工事	予	本庁経理分 交通基盤部 設備課 令和 5 年度債務
		合 計	3 件	1, 639, 616, 000	1, 604, 020, 000	9, 713, 000	1, 613, 733, 000				1, 613, 733, 000			

令和 7 年度該当なし

公有財産調

(令和6年度)

区 分	6年3月31日 現 在		増		減		7年3月31日 現 在		摘要
	数量又 は面積	台帳価格	数量又 は面積	台帳価格	数量又 は面積	台帳価格	数量又 は面積	台帳価格	
行政財産		千円 1,801,097		千円 0		千円 8,764		千円 1,792,333	
土 地	33,774.80	1,710,066					33,774.80	1,710,066	
立木竹	52	282			1	3	51	279	
建 物	$\frac{5,231.62}{8,924.43}$	22,956	$\frac{9.24}{0.40}$	0	$\frac{0.00}{46.52}$	1,158	$\frac{5,240.86}{8,878.31}$	21,798	
工作物	70	67,793	2	0	8	7,603	64	60,190	
普通財産		91,241		0		3,056		88,185	
土 地	896.91	51,626					896.91	51,626	
建 物	$\frac{289.46}{516.40}$	39,615				3,056	$\frac{289.46}{516.40}$	36,559	
工作物	2	—					2	—	
公有財産に 準ずるもの		117		0		0		117	
電 話 加 入 権	4	117					4	117	

公有財産調

(令和7年度)

区 分	7 年 3 月 31 日 現 在		増		減		7 年 6 月 30 日 現 在		摘要
	数量又 は面積	台帳価格	数量又 は面積	台帳価格	数量又 は面積	台帳価格	数量又 は面積	台帳価格	
行政財産		千円 1,792,333		千円 1,559,877		千円 0		千円 3,352,210	
土 地	33,774.80	1,710,066					33,774.80	1,710,066	
立木竹	51	279					51	279	
建 物	$\frac{5,240.86}{8,878.31}$	21,798	$\frac{1,085.63}{3,627.16}$	1,559,877			$\frac{6,326.49}{12,505.47}$	1,581,675	
工作物	64	60,190					64	60,190	
普通財産		88,185		0		0		88,185	
土 地	896.91	51,626					896.91	51,626	
建 物	$\frac{289.46}{516.40}$	36,559					$\frac{289.46}{516.40}$	36,559	
工作物	2	—					2	—	
公有財産に 準ずるもの		117		0		0		117	
電 話 加 入 権	4	117					4	117	

借 地 借 家 等 調

(令和 7 年 6 月 30 日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量又 は面積	借 料		契約 期間	所有者又は 契約者氏名	用 途
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	宅地	富士宮市 元城町 1 6 7 4 番 5	原野	側溝	m ² 4.64	円 無償	円 無償	5.10. 1 ～ 8. 9.30	富士宮市長	側溝
2	土地	河川 敷地	富士宮市小泉 1 1 9 8 - 1 地先	—	原野	m 2.3	無償	無償	6. 4. 1 ～ 9. 3.31	富士宮市長	雨水排水管
3	土地	河川 敷地	富士宮市小泉 1 1 7 0 - 9 地先	—	学校 用地	m ² 15	無償	無償	6. 4. 1 ～ 9. 3.31	富士宮市長	通行路 (河川敷)
	計					m ² 19.64 m 2.3					
4	建物	倉庫建	富士宮市小泉 1 2 3 4	重量鉄骨 スレート葺 平屋建		m ² <u>113.40</u> 113.40	無償	無償	7. 4. 1 ～ 12. 3.31	(一社) 富士宮 東高等学校後援 会理事長	倉庫
5	建物	雑屋建	富士宮市小泉 1 2 3 4	その他 平屋建		m ² <u>117.50</u> 117.50	無償	無償	7. 4. 1 ～ 12. 3.31	(一社) 富士宮 東高等学校後援 会理事長	自転車 置 場
6	建物	雑屋建	富士宮市小泉 1 2 3 4	その他 板 葺 平屋建		m ² <u>45.53</u> 45.53	無償	無償	7. 4. 1 ～ 12. 3.31	(一社) 富士宮 東高等学校後援 会理事長	ダッグ アウト
7	建物	雑屋建	富士宮市小泉 1 2 3 4	重量鉄骨 板 葺 平屋建		m ² <u>160.68</u> 160.68	無償	無償	7. 4. 1 ～ 12. 3.31	(一社) 富士宮 東高等学校後援 会理事長	ピッチング 練習場
8	建物	雑屋建	富士宮市小泉 1 2 3 4	重量鉄骨 そ の 他 平屋建		m ² <u>122.19</u> 122.19	無償	無償	7. 4. 1 ～ 12. 3.31	(一社) 富士宮 東高等学校後援 会理事長	弓道場
9	建物	雑屋建	富士宮市小泉 1 2 3 4	軽量鉄骨 長尺鉄板 瓦 棒 葺 平屋建		m ² <u>103.34</u> 103.34	無償	無償	7. 4. 1 ～ 12. 3.31	(一社) 富士宮 東高等学校後援 会理事長	美術部室
	計					m ² <u>662.64</u> 662.64					
10	工作 物	雑工作物	富士宮市小泉 1 2 3 4	金属造		個 1	無償	無償	7. 4. 1 ～ 12. 3.31	(一社) 富士宮 東高等学校後援 会理事長	表示黑板
11	工作 物	照明装置	富士宮市小泉 1 2 3 4	ｺﾝｸﾘｰﾄ造 金属造		個 2	無償	無償	7. 4. 1 ～ 12. 3.31	(一社) 富士宮 東高等学校後援 会理事長	投光器

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	借 料		契約 期間	所有者又は 契約者氏名	用 途
				台帳	現況		単価	年額			
12	工作物	雑屋建	富士宮市小泉 1 2 3 4	軽量鉄骨		個 1	無償	無償	7 . 4. 1 ～ 12 . 3. 31	(一社) 富士宮 東高等学校後援 会理事長	スコア ボード
13	工作物	囲障	富士宮市小泉 1 2 3 4	コンクリート造 鋼管		m 80.40	無償	無償	7 . 4. 1 ～ 12 . 3. 31	(一社) 富士宮 東高等学校後援 会理事長	防球ネット
14	工作物	雑屋建	富士宮市小泉 1 2 3 4	軽量鉄骨		個 1	無償	無償	7 . 4. 1 ～ 12 . 3. 31	(一社) 富士宮 東高等学校後援 会理事長	野球観覧席
15	工作物	冷暖房装 置	富士宮市小泉 1 2 3 4			個 1		4,063,304	6 . 7. 1 ～ 19 . 6. 30	NTT・TC リース株式会社 静岡支店	特別教室空 調
	計					個 6 m 80.40		4,063,304			

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和 7 年度)

(令和 7 年 6 月 30 日現在)

区分	事業名又は契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)							
				4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	9 年度	10年度	11年度
長期継続契約	静岡県立富士宮東高等学校高速カラー印刷機賃貸借	高速カラー印刷機の賃貸借 (契約日) 令和7年4月1日	円 1,947,000	円	円	円	円 389,400	円 389,400	円 389,400	円 389,400	円 389,400
	静岡県立富士宮東高等学校仮設校舎賃貸借	仮設校舎の賃貸借 (契約日) 令和4年8月10日	円 229,900,000	円 145,100,000	円 33,600,000	円 33,600,000	円 17,600,000				
	静岡県立富士宮東高等学校給食調理（配膳）業務委託※	夜間定時制学校給食調理・配膳等の業務 (契約日) 令和5年8月1日	円 15,840,000 (103,332)		円 3,520,000 (103,332)	円 5,280,000 (0)	円 5,280,000 (0)	円 1,760,000 (0)			
	静岡県立富士宮東高等学校給食調理（配膳）業務委託	夜間定時制学校給食調理・配膳等の業務 (契約日) 令和5年12月1日	円 15,849,780		円 1,988,238	円 5,936,316	円 5,943,922	円 1,981,304			

※静岡県立富士宮東高等学校給食調理（配膳）業務委託（令和 5 年 8 月 1 日契約）については、令和 5 年 9 月 8 日に契約解除。括弧内の数字については、契約解除に伴う損害賠償請求時に、履行部分に相当する額として、損害賠償額と相殺した額を記載。

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量 又は 面積	貸付料又は使用料		貸付又は 使用許可 期 間	貸付又は使用許可 を受けた者の氏名	貸付・使用 許可目的
				台帳	現況		単 価	年 額			
1	土地	学校敷地	富士宮市小泉1234	学校敷地	学校敷地	2条	1,500	3,000円	4. 4. 1 ～ 9. 3. 31	東京電力パワーグリッド(株)富士支社長	支線2条
2	〃	〃	〃	〃	〃	1条	1,500	1,500	3. 4. 1 ～ 8. 3. 31	西日本電信電話(株)静岡支店長	支線1条
3	〃	〃	〃	〃	〃	0.25㎡	免除	免除	7. 4. 1 ～ 8. 3. 31	富士急静岡バス(株)取締役社長	バス停ポール
4	〃	〃	〃	〃	〃	0.81㎡	〃	〃	7. 4. 1 ～ 8. 3. 31	国土交通省国土地理院中部地方測量部長	二等水準点標示板
5	〃	〃	〃	〃	〃	0.42㎡	〃	〃	3. 4. 1 ～ 8. 3. 31	富士宮市長	避難場所表示板2箇所
6	土地建物	〃事務所建	〃	鉄骨造4階	鉄骨造4階	0.01㎡	〃	〃	7. 4. 1 ～ 12. 3. 31	富士宮市長	同報無線戸別受信機
7	〃	〃	〃	〃	〃	0.43㎡	〃	〃	7. 4. 1 ～ 12. 3. 31	富士宮市長	地域防災無線
8	〃	〃	〃	〃	〃	0.01㎡	〃	〃	7. 4. 1 ～ 12. 3. 31	富士宮市長	防災用デジタル簡易無線
9	土地	学校敷地	〃	学校敷地	学校敷地	0.32㎡	〃	〃	7. 4. 1 ～ 8. 3. 31	富士宮市長	環境美化啓発用看板
10	〃	〃	〃	〃	〃	9.96㎡	〃	〃	3. 4. 1 ～ 8. 3. 31	富士宮市長	市防災備蓄倉庫
11	〃	〃	〃	〃	〃	11.07㎡	〃	〃	3. 9. 1 ～ 8. 3. 31	富士宮市長	市防災倉庫
12	〃	〃	〃	〃	〃	1.00㎡	〃	〃	6. 4. 1 ～ 9. 3. 31	(一社)富士宮東高等学校後援会理事長	公衆電話1台
13	〃	〃	〃	〃	〃	20.00㎡	〃	〃	7. 4. 1 ～ 10. 3. 31	富士宮東高等学校PTA会長	PTA職員駐車場
14	土地建物	〃事務所建	〃	鉄骨造4階	鉄骨造4階	6.60㎡	〃	〃	7. 4. 1 ～ 10. 3. 31	富士宮東高等学校PTA会長	PTA職員執務場所
15	〃	〃	〃	〃	〃	3.24㎡	〃	〃	7. 4. 1 ～ 10. 3. 31	富士宮東高等学校PTA会長	パン販売所
16	〃	〃	〃	〃	〃	4.00㎡	990,275	990,275	7. 4. 1 ～ 9. 3. 31	サントリービバレッジソリューション(株)	自動販売機2台
17	土地	学校敷地	〃	学校敷地	学校敷地	6.00㎡	766,500	766,500	6. 4. 1 ～ 9. 3. 31	コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)ベンディング中部日本地区統括部ベンディング静岡支店長	自動販売機3台
合計								1,761,275			

普通財産・借受財産等貸付調

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量 又は 面積	貸付料又は使用料		貸付又は 使用許可 期 間	貸付又は使用許可 を受けた者の氏名	貸付・使用 許可目的
				台帳	現況		単 価	年 額			
1	土地	宅地	富士宮市 元城町 30-10	公舎 敷地	公舎 敷地	本 1	1,500	円 1,500	5. 4. 1 ～ 8. 3. 31	東京電力パワーグ リッド(株)富士支 社長	支柱1本 (接地極1本)
合計								1,500			

職 員 公 舍 管 理 状 況 調

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	所 在 地	建 築 年 月	構 造	管 理 戸 (室) 数 (A)	入 居 戸 (室) 数 (B)	Bの内 他事務所職員 入居戸(室)数	空 屋 戸 (室) 数 (A－B)	摘 要
1	富士宮市元城町 30－10	H2.5	非木造 RC 2階建 1棟	8戸	6戸	5戸	2戸	单身・世帯用住宅 他事務所職員内訳 富士高校 1戸 吉原高校 1戸 富士宮西高校 2戸 富岳館高校 1戸 令和3年4月1日から空家1戸 令和6年7月28日から空家1戸
	計			8戸	6戸	5戸	2戸	

主 要 備 品 調

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	区分		品 名・規 格	利 用 状 況	購 入 年 月	購入金額
	大・中	小				
1	02-01	パーソナルコンピュータ周辺機器	富士通ESPRIMO 1台 富士通ARROWS Tab 24台 常設プロジェクタ 他	毎日（年間190日） 授業に使用	令和4年3月	円 9,680,000
2	02-01	パーソナルコンピュータ周辺機器	常設プロジェクタ マクセル MC-AW3005J 17台 タブレット端末 iPad 80台	毎日（年間300日） 授業、部活動に使用	令和元年9月	7,926,304
3	02-01	パーソナルコンピュータ（一式）	パーソナルコンピュータ 富士通ESPRIMO 教師機1台 生徒機42台	毎日（年間190日） 授業に使用	令和2年1月	6,006,418
4	10-99	その他の教育用器具	電動昇降式リフト浴槽 アライバース MAB2800	学期2回（年6回） 福祉実習に使用	平成14年3月	2,710,050
5	01-13	その他の厨房器具	給食室厨房用備品 食器洗浄機 他	毎日（年間190日） 給食業務に使用	平成29年3月	1,825,200
6	10-07	鍵盤楽器	グランドピアノ ヤマハ C3TD	毎日（年間300日） 授業、部活動に使用	平成27年3月	1,560,492
7	10-07	鍵盤楽器	グランドピアノ カワイ RX-5A	毎日（年間300日） 授業、部活動に使用	平成16年3月	1,260,000
8	04-03	運搬用具	バッテリー式電動階段昇降車	毎日（年間300日） 移動教室時に使用	平成28年3月	1,230,120
9	10-12	トレーニング用器具	レグカル&エクステンション セノー	毎日（年間300日） 授業、部活動に使用	平成元年12月	1,107,250
10	10-12	トレーニング用器具	バタフライ&ロイゲマノン セノー	毎日（年間300日） 授業、部活動に使用	平成元年12月	952,750
11	01-04	戸棚	食器戸棚 ダルトン 6900×600/450×2700	毎日（年間365日） 調理実習用食器保管	平成12年3月	882,000
12	01-04	移動書庫	ハンドルラック コクヨ 2連	毎日（年間365日） 教務用書類保管	平成23年3月	835,800
13	10-06	教育調理器具	教育調理器具 LE-100（LGR）教師用調理台	週2回（年間96日） 調理実習に使用	平成28年1月	746,280
14	10-99	その他の教育用器具	ブロー担架 ASB2850	月1回（年間12日） 福祉実習に使用	平成14年3月	699,300
15	10-07	鍵盤楽器	アップライトピアノ ヤマハ YU3	週4回（年間120日） 音楽授業に使用	平成12年3月	630,000
16	10-07	鍵盤楽器	アップライトピアノ ヤマハ YU3	週4回（年間120日） 音楽授業に使用	平成12年3月	630,000
17	01-04	移動書庫	ハンドルラック コクヨ 1連	毎日（年間365日） 事務用書類保管	平成23年3月	600,600
18	02-02	放送装置	放送装置 キャリングアンプー式	週1回（年間48日） 行事、集会に使用	令和3年9月	537,900
19	01-04	書類収納庫	耐火書類収納庫 クマヒラ	毎日（年間365日） 事務用書類保管	平成4年2月	492,340
20	02-02	送受信機	無線LANブリッジ 外部アンテナ	毎日（年間365日） 授業、部活動に使用	令和5年4月	485,100

職 員 調

【全日制】

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	校 長	鈴 木 香		□□□	年 月 □. □	□□□
2	副校長	中 田 真 希		□□□	□. □	□□□
3	教 頭	小 出 敏 正	国 語	□□□	□. □	□□□
4	事務長	加 賀 佐 企 子	総 括	□□□	□. □	□□□
5	教 諭	渋谷 晶 子	国 語	□□□	□. □	□□□
6	〃	村 松 隆	保健体育	□□□	□. □	□□□
7	〃	伊 藤 麻 季 子	外 国 語	□□□	□. □	□□□
8	〃	佐 藤 智 昭	国 語	□□□	□. □	□□□
9	〃	倉 地 憲	地歴公民	□□□	□. □	□□□
10	〃	大 宅 忍	外 国 語	□□□	□. □	□□□
11	〃	鈴 木 里 佳	芸 術	□□□	□. □	□□□
12	〃	石 川 雅 俊	国 語	□□□	□. □	□□□
13	〃	長 橋 綾 香	理 科	□□□	□. □	□□□
14	〃	大 鉢 太 郎	保健体育	□□□	□. □	□□□
15	〃	山 本 東 奈	福 祉	□□□	□. □	□□□
16	〃	杉 本 政 紀	保健体育	□□□	□. □	□□□
17	〃	仲 村 光	芸 術	□□□	□. □	□□□
18	〃	青 木 祐 子	福 祉	□□□	□. □	□□□
19	〃	大 端 大	外 国 語	□□□	□. □	□□□
20	〃	永 吉 優 里	福 祉	□□□	□. □	□□□
21	〃	諏 訪 部 悠	地歴公民	□□□	□. □	□□□
22	〃	小 川 侑 祐	理 科	□□□	□. □	□□□
23	〃	石 垣 貴 至	理 科	□□□	□. □	□□□
24	〃	植 松 慶 祐	数 学	□□□	□. □	□□□
25	〃	影 島 圭 介	外 国 語	□□□	□. □	□□□
26	〃	横 瀬 洋 介	福 祉	□□□	□. □	□□□
27	〃	森 晴 菜	国 語	□□□	□. □	□□□

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
28	教諭	中 原 瑞 稀	数 学	□□□	□. □	□□□
29	〃	杉 山 竜 也	数 学	□□□	□. □	□□□
30	〃	伊 藤 里 奈	家 庭	□□□	□. □	□□□
31	〃	佐 々 木 壮	外 国 語	□□□	□. □	□□□
32	〃	後 藤 正 人	地歴公民	□□□	□. □	□□□
33	〃	栗 原 浩 樹	外 国 語	□□□	□. □	□□□
34	〃	伊 藤 啓 司	数 学	□□□	□. □	□□□
35	〃	高 橋 恵 子	福 祉	□□□	□. □	□□□
36	〃	久保田 達也	保健体育	□□□	□. □	□□□
37	〃	太 田 友 康	地歴公民	□□□	□. □	□□□
38	養護教諭	仁 藤 亜 紀 奈	保 健	□□□	□. □	□□□
39	主 査	富 士 井 恵 美	管 財	□□□	□. □	□□□
40	〃	渡 邊 敦 子	給与・庶務	□□□	□. □	□□□
41	主 任	佐 野 里 歩	会 計	□□□	□. □	□□□
平 均 年 数					□. □	

臨時・非常勤職員等

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	教諭（任短）	糸 洲 竜 太 郎	芸 術	□□□	□. □	□□□
2	実習助手（臨）	望 月 正 美		□□□	□. □	
3	非常勤講師	夏 賀 由 美 恵	外 国 語	□□□	□. □	□□□
4	〃	久 野 康 子	福 祉	□□□	□. □	□□□
5	〃	秋 元 健 太	情 報	□□□	□. □	□□□
6	〃	吉 田 み どり	芸 術	□□□	□. □	□□□
7	〃	星 野 有 加 里	国 語	□□□	□. □	□□□
8	〃	遠 藤 泰	理 科	□□□	□. □	□□□
9	〃	樽 井 直 美	音 楽	□□□	□. □	□□□
10	〃	田 中 恭 子	音 楽	□□□	□. □	□□□
11	〃	吉 田 雅 俊	音 楽	□□□	□. □	□□□
12	非常勤労務職員	大 澤 一 元		□□□	□. □	
13	〃	宇 佐 美 新 司		□□□	□. □	
14	〃	加 藤 金 彦		□□□	□. □	
15	〃	佐 藤 洋 子		□□□	□. □	
16	非常勤嘱託員	出 原 加 代 子		□□□	□. □	
17	部活動指導員	久 保 田 達 也		□□□	□. □	
18	A L T	アブード カレン		□□□	□. □	
19	スクールカウンセラー	鈴 木 さ わ ゑ		□□□	□. □	□□□
20	〃	藪 田 真 弓		□□□	□. □	□□□
21	校 医 健康管理医	浦 野 芳 治		□□□	□. □	□□□
22	校 医	安 藤 俊 美		□□□	□. □	□□□
23	〃	佐 野 眞 一		□□□	□. □	□□□
24	〃	窪 田 明 久		□□□	□. □	□□□
25	学校薬剤師	渡 邊 博 文		□□□	□. □	□□□
計		25人				

【定時制】

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	教 頭	奥 村 雅 尚		□□□	□. □	□□□
2	教 諭	福 島 章 臣	保健体育	□□□	□. □	□□□
3	〃	藤 田 慶 輔	外 国 語	□□□	□. □	□□□
4	〃	伊 藤 利 浩	地歴公民	□□□	□. □	□□□
5	〃	雨 宮 弘 明	理 科	□□□	□. □	□□□
6	〃	足 立 優 奈	国 語	□□□	□. □	□□□
7	〃	二 澤 一 平	数 学	□□□	□. □	□□□
8	養護教諭	加 藤 愛 美	保 健	□□□	□. □	□□□
9	主 事	渡 邊 聡	庶 務	□□□	□. □	□□□
平 均 年 数					□. □	

臨時・非常勤職員等

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	教諭（臨）	石 原 昭 史	商 業	□□□	□. □	□□□
2	非常勤講師	吉 田 み ど り	芸 術	□□□	□. □	□□□
3	〃	遠 藤 和 帆	芸 術	□□□	□. □	□□□
4	〃	中 村 あ ゆ み	家 庭	□□□	□. □	□□□
5	スクールカウンセラー	久 保 伸 年		□□□	□. □	□□□
計		5 人				

職 員 の 年 齢 調

【全 日 制】

(令和7年6月30日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0人	
20歳以上30歳未満	3	
30歳以上40歳未満	11	
40歳以上50歳未満	8	
50歳以上56歳未満	7	
56歳以上61歳未満	5	
61歳以上	7	暫定再任用職員 7
計	41	平均年齢 46.7歳

【定 時 制】

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0人	
20歳以上30歳未満	3	
30歳以上40歳未満	1	
40歳以上50歳未満	2	
50歳以上56歳未満	2	
56歳以上61歳未満	0	
61歳以上	1	
計	9	平均年齢 40.1歳

健康管理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 55人 職員数 55人
受 診 率	100%
県平均受診率	100%

(1) 未受診の理由

(注) 1 前年度末日現在在籍している職員について記載する。

2 受診率算定に当たっては、休職・特休中、育休・産休・妊娠中、治療中及び海外派遣中等の職員は、算定の対象から除く。

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	人
B 2		要経過観察	人
C 1	勤務をほぼ平常に行っていが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	人
C 2		要経過観察	人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	11(11)人
D 2		要経過観察	21(21)人
D 3		医 療 不 要	17(17)人
区 分 者 計			49(49)人
未区分者数			1(1)人
合 計			50(50)人

(1) 管理区分A～C2該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア □□□□ 人
イ □□□□ 1人
ウ □□□□ 人
エ □□□□ 人

(注) 1 健康管理区分結果は、調書調製日現在在籍している職員（様式第2号-2の記載対象者と同じ。）について記載する。

2 本年度の健康管理区分結果が出ていない職員については、前年度の結果を記載し、（ ）書きで再掲する。

3 前年度に市町等へ派遣されていた職員等は、派遣先等の健康診断結果等に基づき、該当箇所に記載する。

4 本様式は別冊とする。

5 警察署は、「D3」と「区分者計」の間に「区分なし」を追加して記載する。